

# 私立歯科大学附属病院・歯学部における 感染対策の現状

日本私立歯科大学協会常務理事  
附属病院感染対策協議会議長・昭和大学歯学部長  
榎 宏太郎

## 私立歯科大学協会附属病院感染対策協議会について

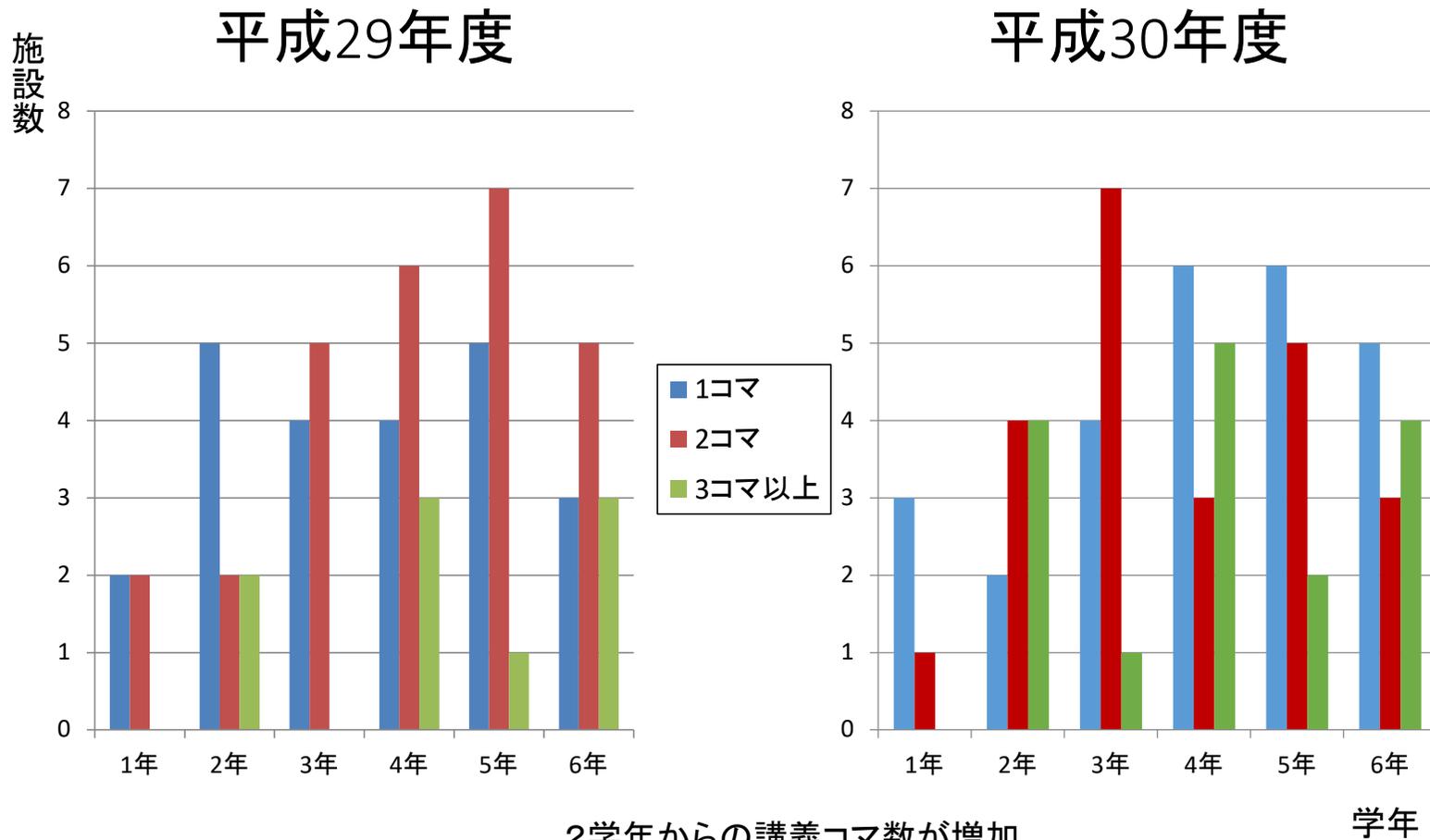
- 私立歯科大学協会附属病院感染対策協議会は、平成23年(2011年)に設置され、私立歯科大学・歯学部における感染対策教育及び附属病院における感染対策の強化・充実に資するため、毎年度調査を実施するとともに、年1回感染対策協議会を開催し、情報共有・意見交換を行ってきている。
- 協議会は、私立歯科大学協会業務執行役員が議長となり、17の協会加盟校から推薦された委員で構成されており、私立医科大学附属病院感染対策協議会及び国公立大学附属病院感染対策協議会とも交流を深め、相互の情報交換に努めている。
- これらの取り組みにより、私立歯科大学・歯学部及び附属病院における感染対策への取り組みは、大きく前進してきている。

(令和2年1月調査)

# 感染対策強化に関するアンケート調査結果

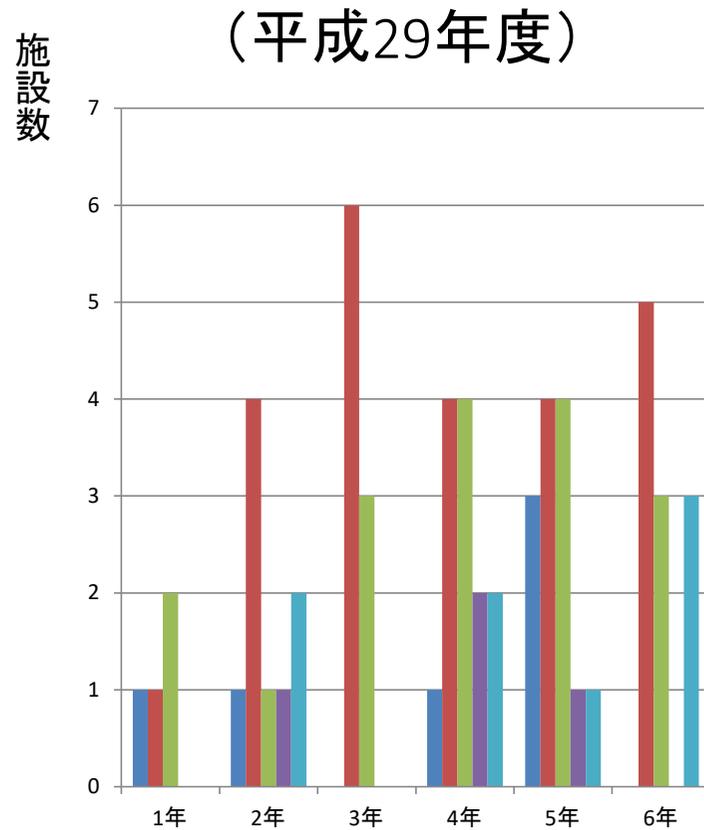
<調査対象期間:平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)>

# 「院内感染対策」について学部学生への講義回数

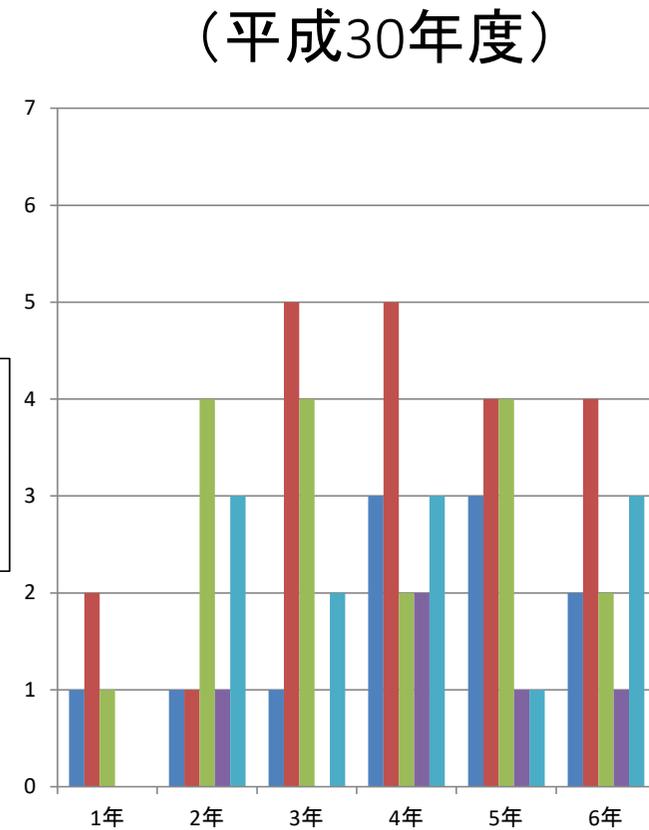


2学年からの講義コマ数が増加、  
4学年からは3コマ以上の増加が認められる

# 「院内感染対策」について学部学生への講義時間



全講義時間平均: 608.8 ± 281.8分  
(平成28年度: 605.9時間)



平成30年度  
全校の総講義時間平均: 667.1 ± 491.8分

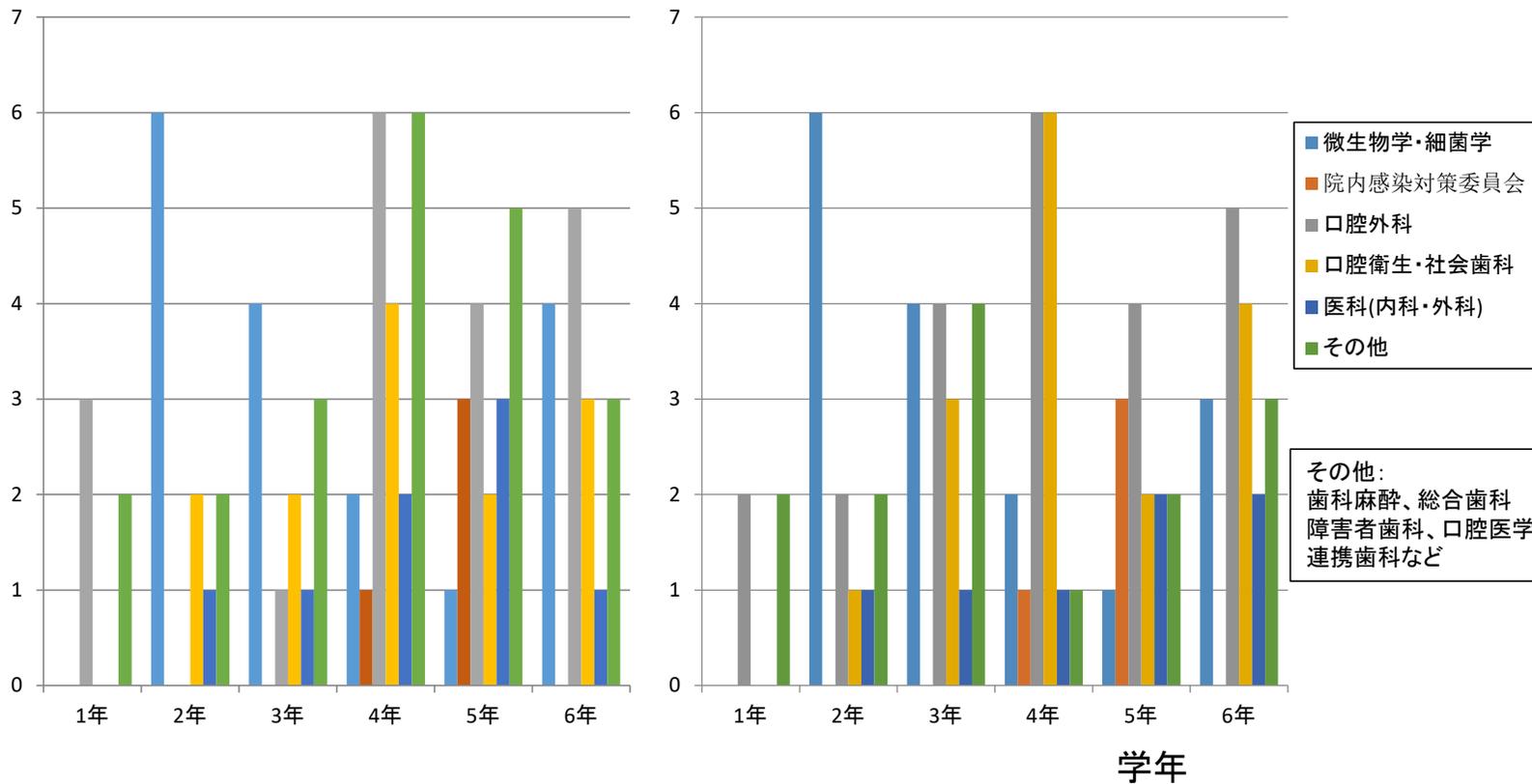
学年

# 「院内感染対策」について学部学生への講義担当講座 (複数科担当あり)

施設数

(平成29年度)

(平成30年度)

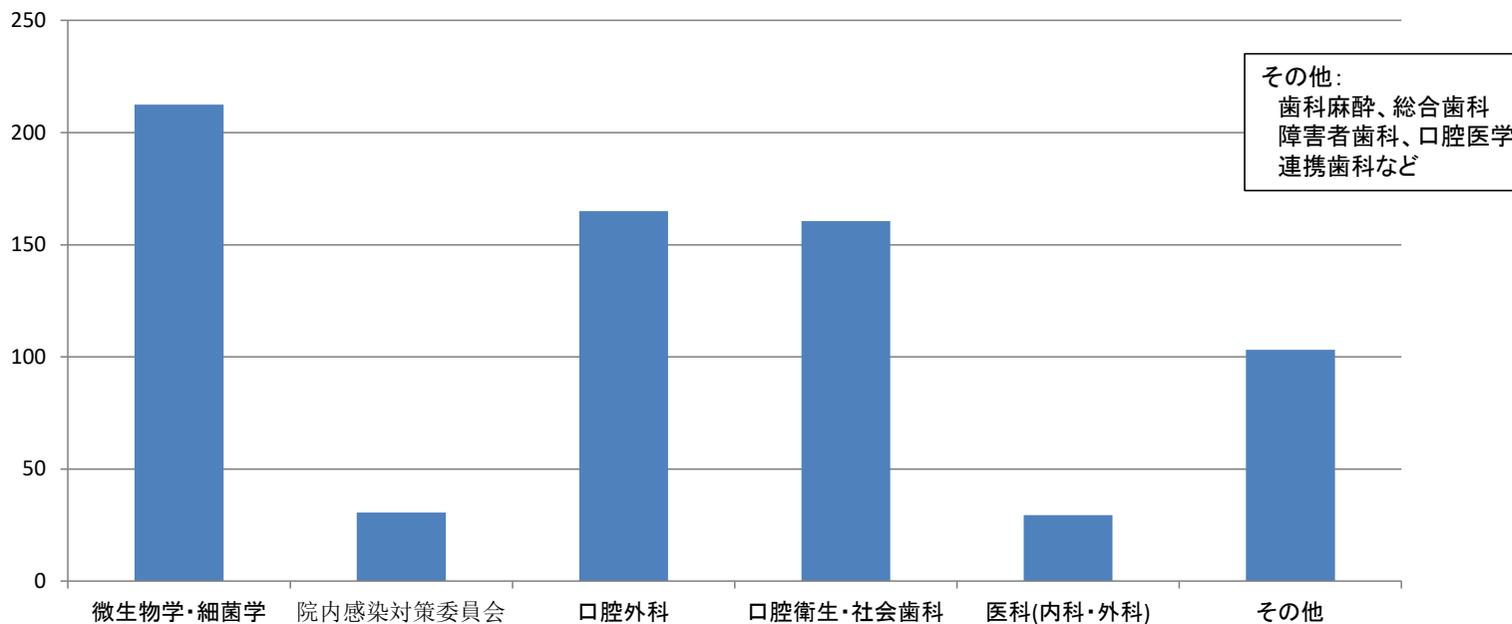


# 「院内感染対策」について学部学生への講義担当講座

(平成30年度)

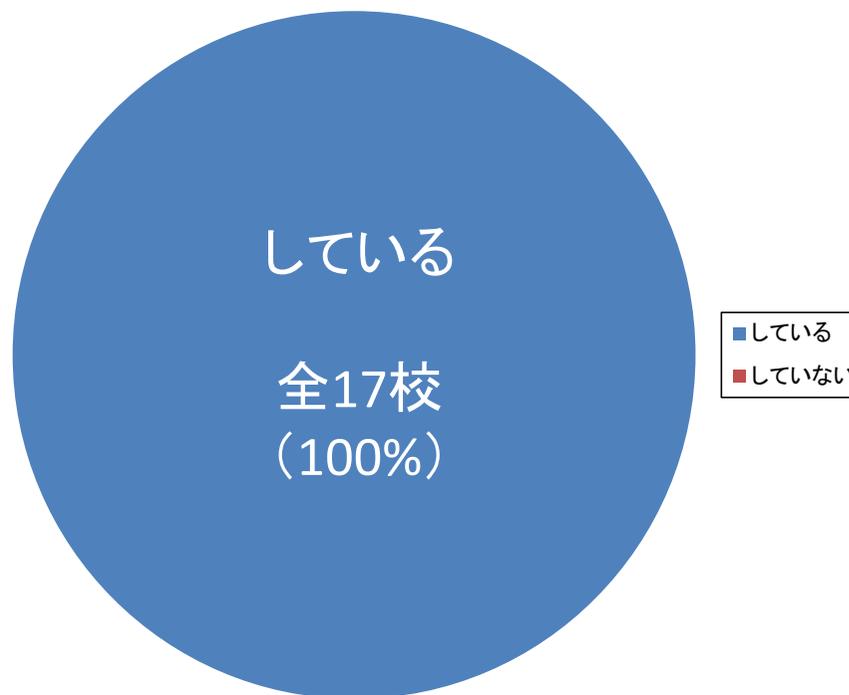
平均講義時間

分



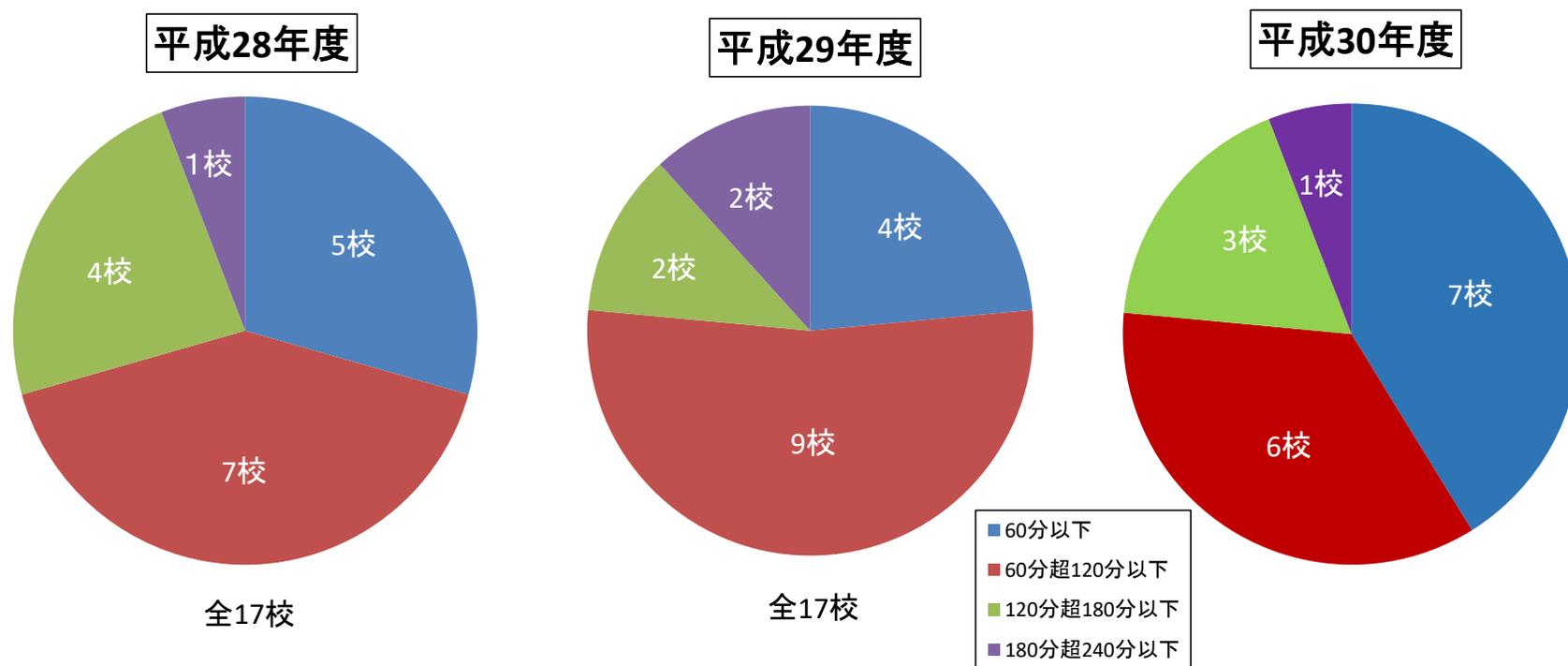
# 「院内感染対策」について臨床実習生への講義

平成30年度



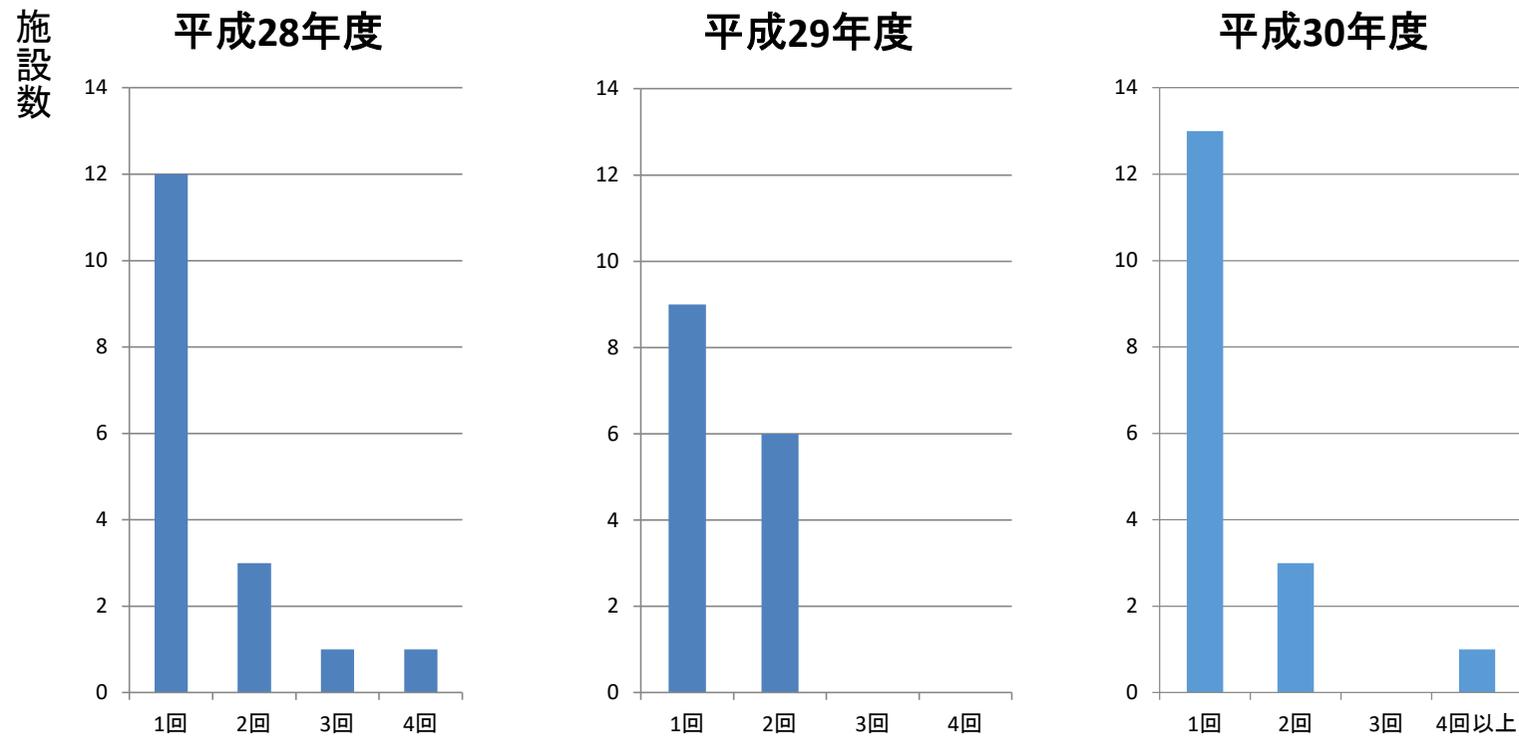
前年度と同じ

## 「院内感染対策」について臨床実習生への講義時間



講義時間が経年的に確保されてきている

# 「院内感染対策」について臨床実習生への講義回数

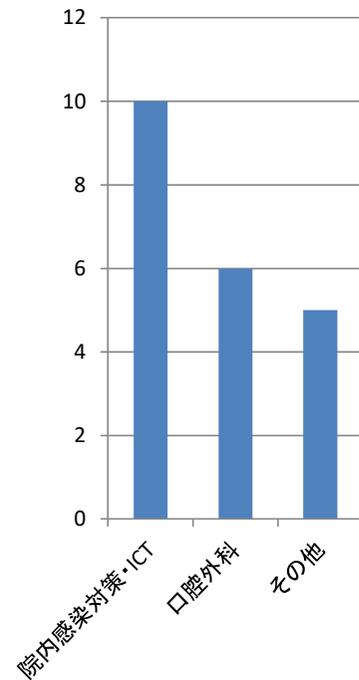


# 「院内感染対策」について臨床実習生への講義担当講座

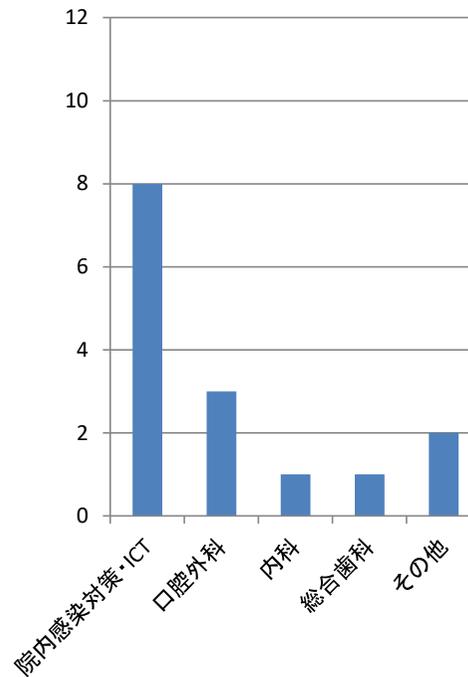
(複数科担当あり)

施設数

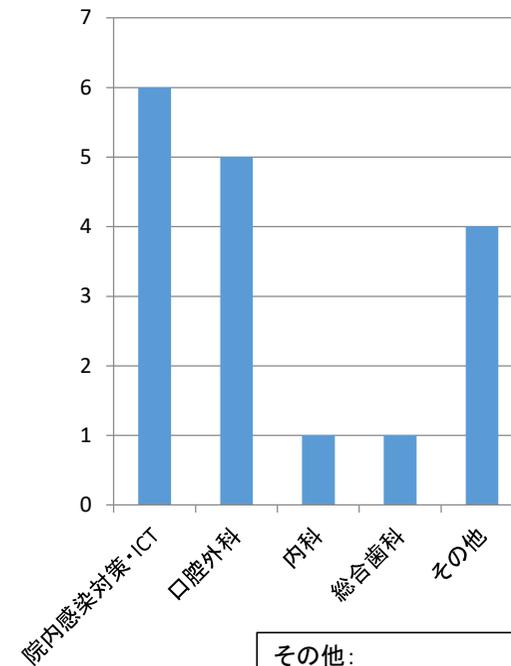
## 平成28年度



## 平成29年度



## 平成30年度



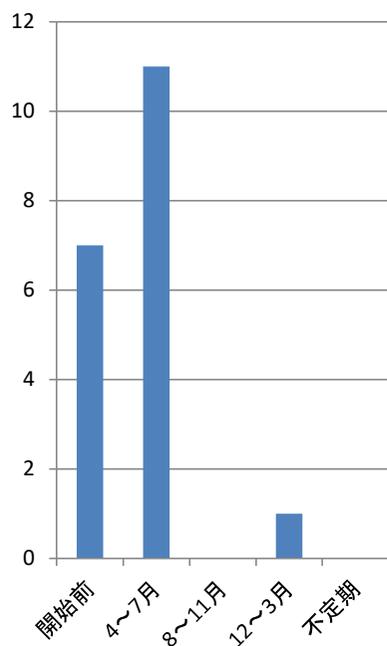
その他：  
歯科麻酔、総合歯科  
口腔医学、連携歯科など

# 「院内感染対策」について臨床実習生への講義時期

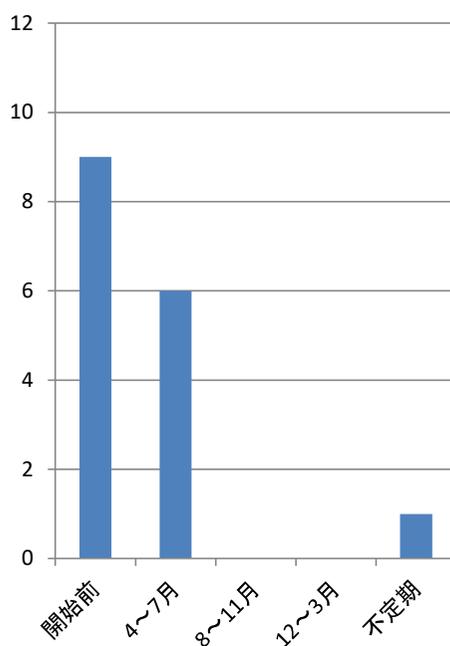
(複数回答あり)

施設数

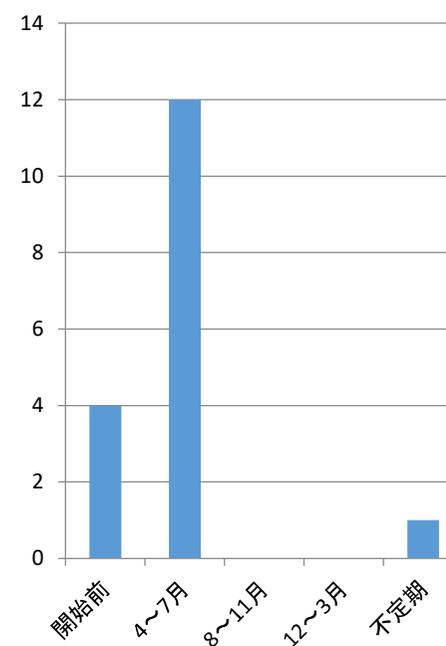
## 平成28年度



## 平成29年度



## 平成30年度



# 「院内感染対策」について臨床研修歯科医への講義

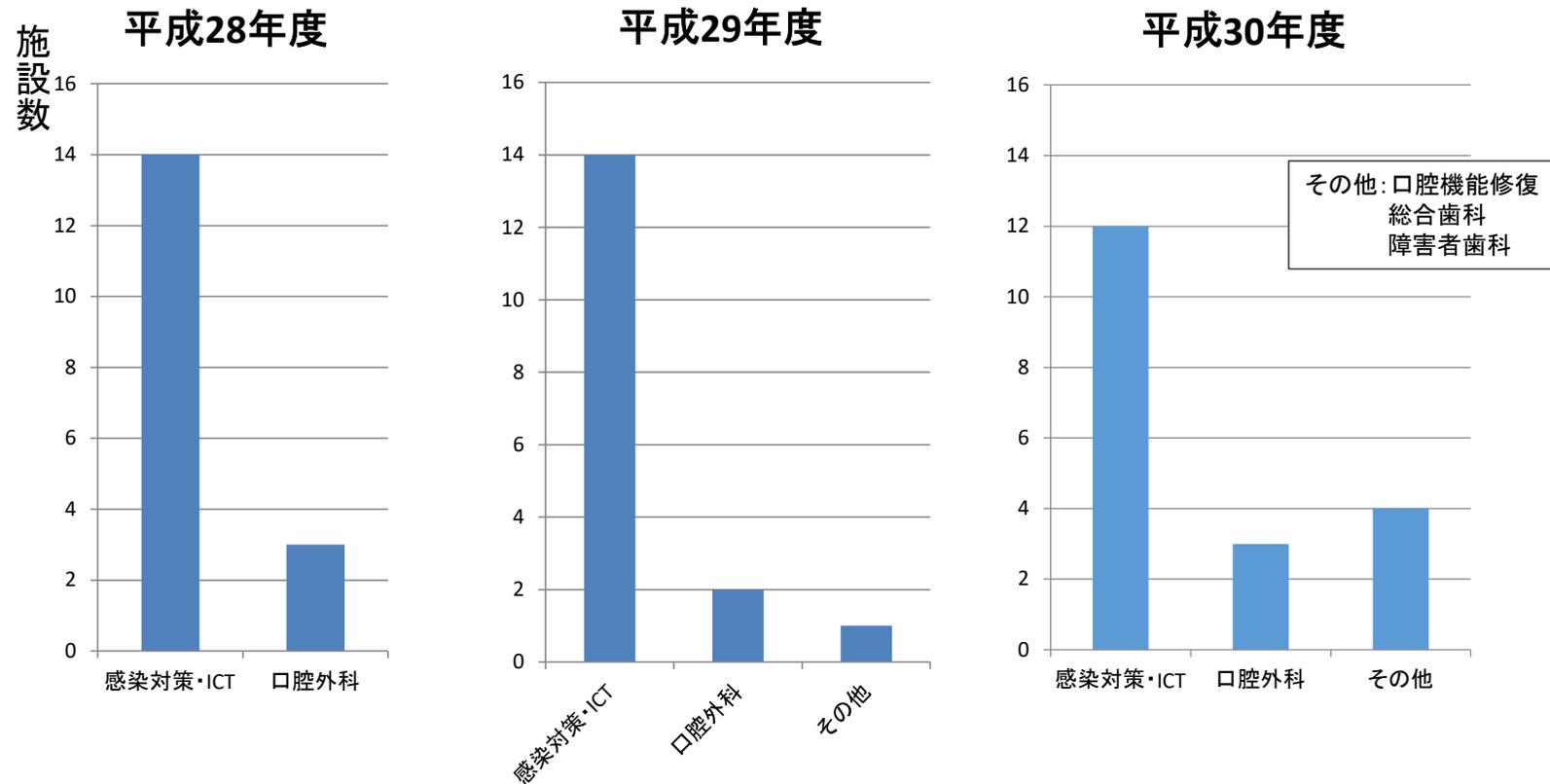
(複数科担当あり)

平成30年度



# 「院内感染対策」について臨床研修歯科医への講義

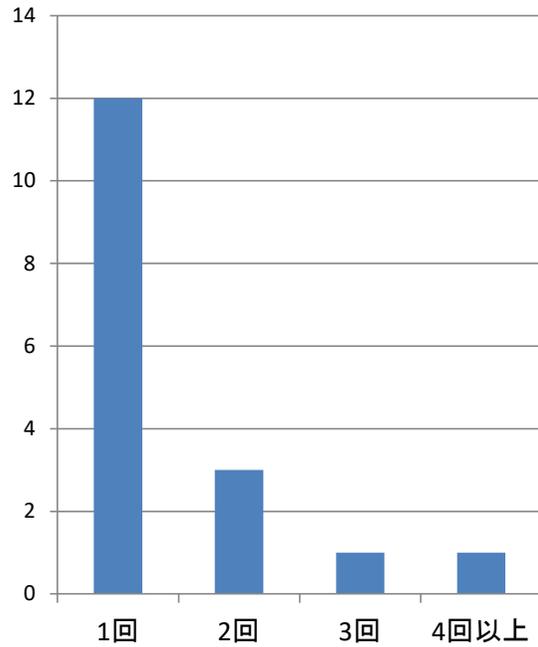
(複数科担当あり)



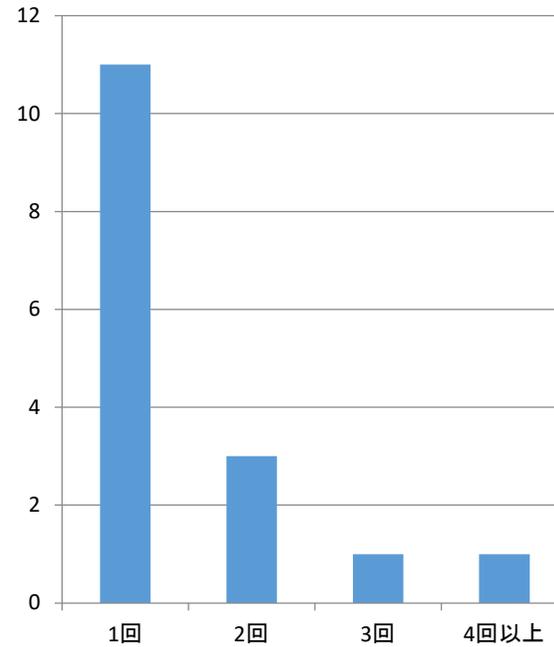
## 「院内感染対策」について臨床研修歯科医への講義回数

施設数

### 平成29年度

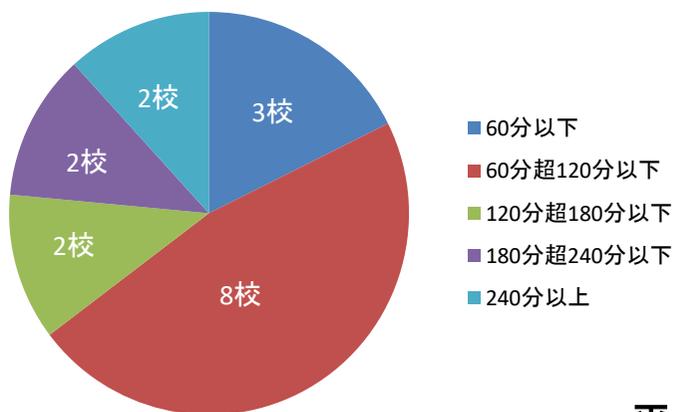


### 平成30年度

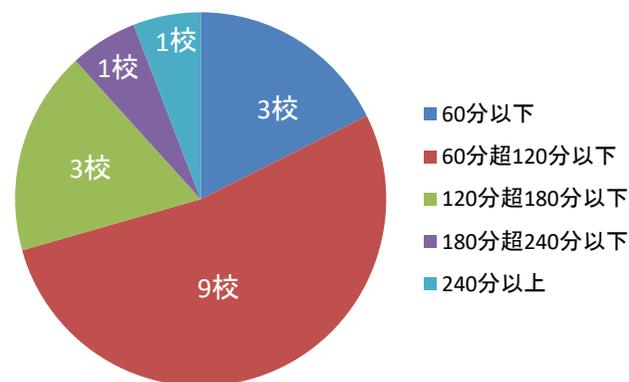


# 「院内感染対策」について臨床研修歯科医への講義時間

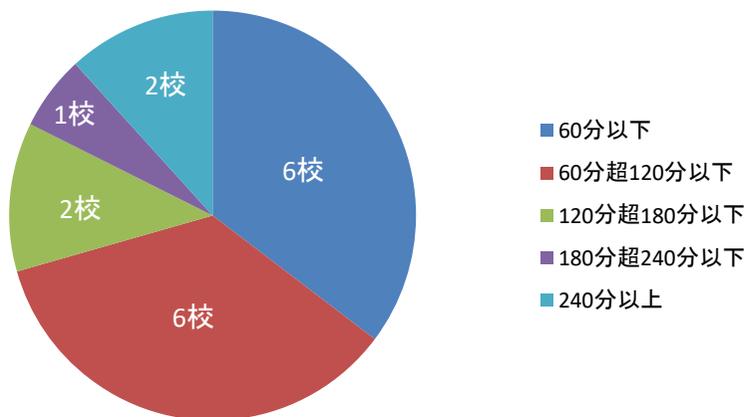
## 平成28年度



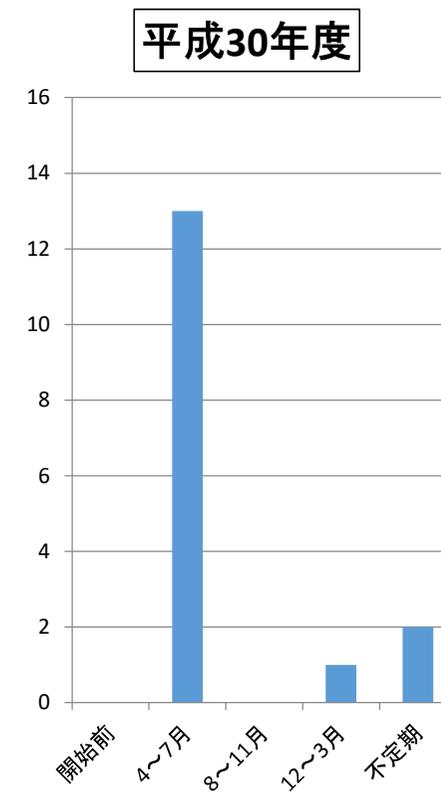
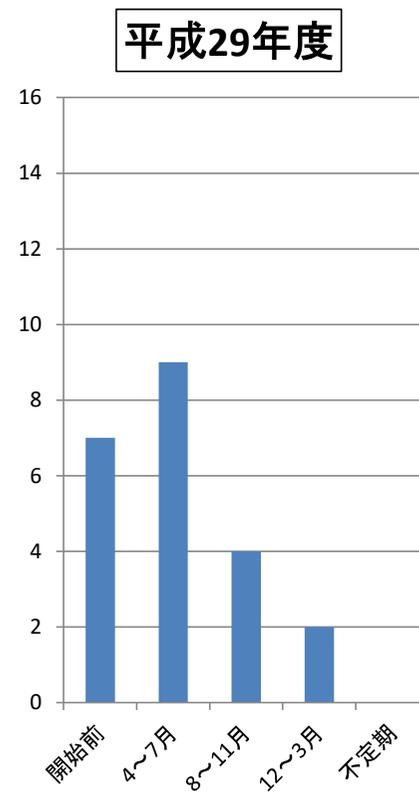
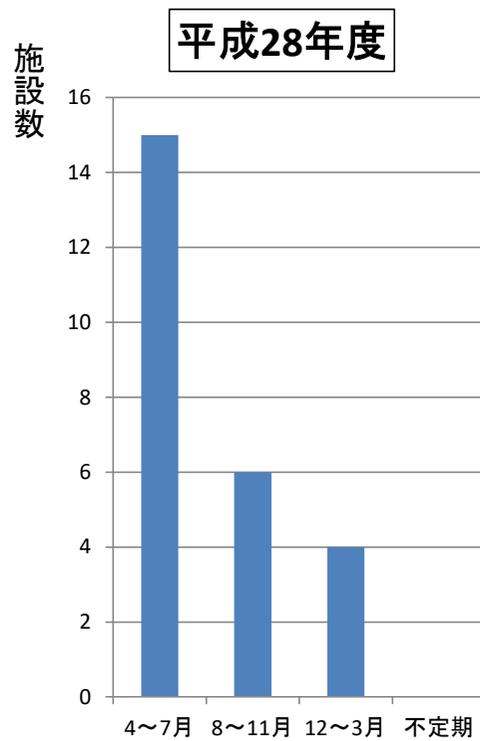
## 平成29年度



## 平成30年度

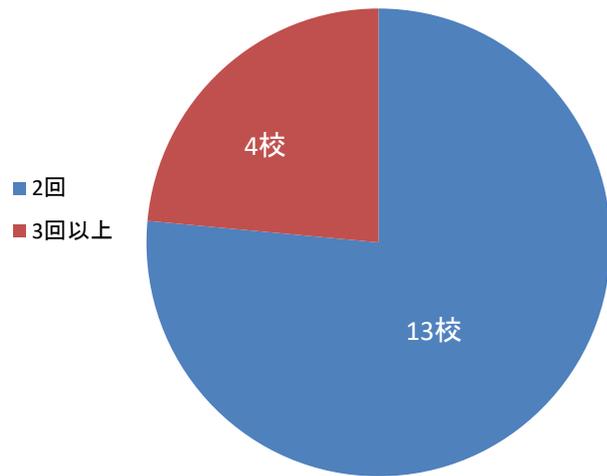


# 「院内感染対策」について臨床研修歯科医への講義時期

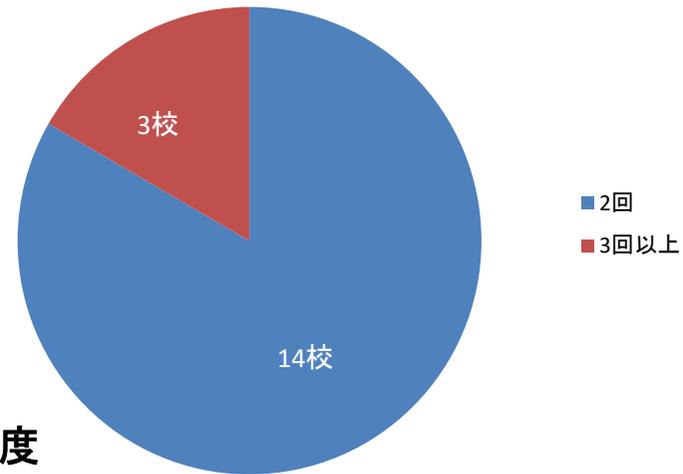


# Q4.病院職員に「院内感染対策講習会」何回開催されましたか

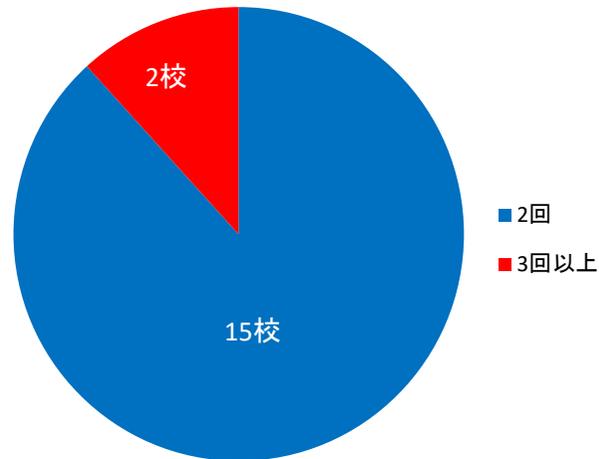
## 平成28年度



## 平成29年度



## 平成30年度



## 平成30年度 Q5「院内感染対策講習会」の内容を記載下さい

- ・歯科用ユニットの清掃法
- ・ウォーターラインの洗浄法
- ・抗菌薬の適正使用について
- ・手指衛生の重要性と実践
- ・歯科における感染対策
- ・様々な場所に潜むレジオネラ菌の危険性
- ・ICTラウンドにおける指摘事項
- ・薬剤耐性の臨床・社会の問題と基礎研究
- ・現代の医療水準に則った歯科診療における感染対策
- ・HIV患者の歯科治療
- ・抗菌薬の適正使用
- ・院内感染の最近の傾向
- ・いまさら？滅菌
- ・エタプラスゲルを使おう！
- ・災害時の歯科医療について
- ・医療事故から学ぶ感染対策について
- ・インフルエンザ対策と院内感染防止対策について

## 平成30年度 Q5「院内感染対策講習会」の内容を記載下さい

- ・ICT活動報告と標準予防策について
- ・抗菌薬の適正使用について
- ・なぜ感染制御？
- ・インフルエンザアウトブレイク事例から学ぶ感染予防対策
- ・細菌検査の集計報告(院内感染対策)
- ・抗菌薬使用状況と適正使用のポイント(院内感染対策)
- ・総合診療科でのICTラウンド(院内感染対策)
- ・C型肝炎の治療の進歩
- ・歯科ユニットの洗浄度
- ・手指消毒を中心とした歯科における院内感染対策の基本
- ・標準予防策・血液体液曝露事故
- ・インフルエンザワクチン接種と4種ウイルス感染症に対する免疫確認の必要性
- ・滅菌パックされた機材の使用について
- ・食中毒予防と衛生管理
- ・術後感染予防における抗菌薬適正使用ガイドライン
- ・ICTにおける院内ラウンド結果

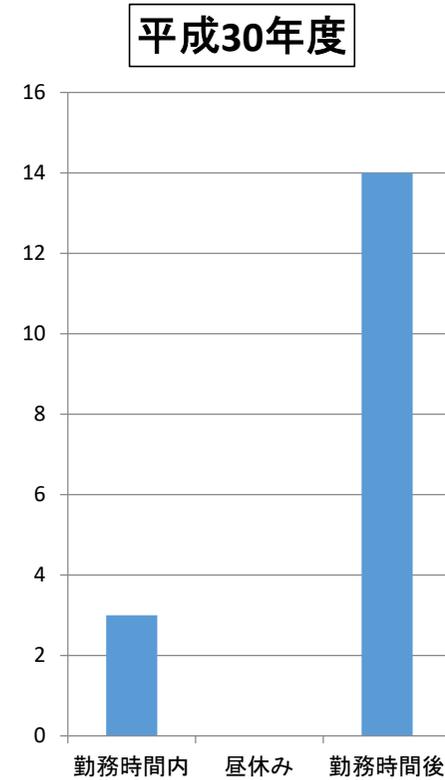
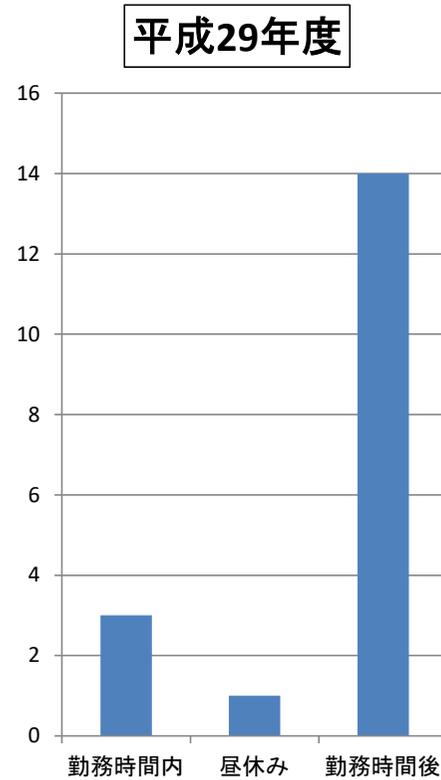
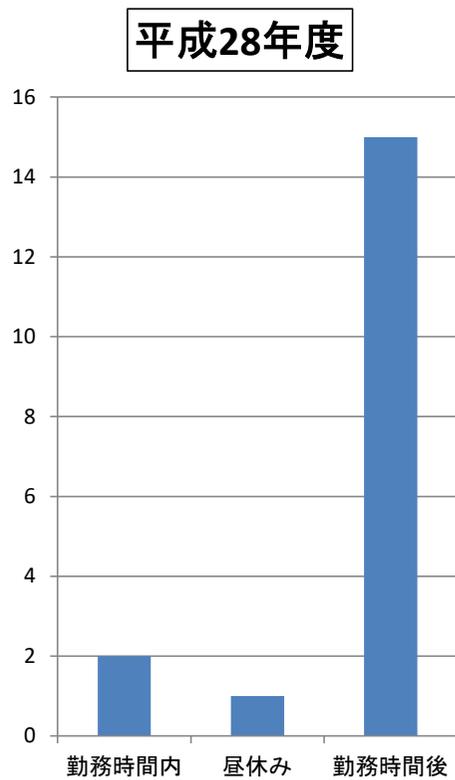
## 平成30年度 Q5「院内感染対策講習会」の内容を記載下さい

- ・感染対策基幹マニュアルについて
- ・感染症、最近の話題: 抗菌薬適正使用・職業感染防止
- ・感染性心内膜炎の予防と治療のガイドラインについて
- ・リンクナース会、RST活動報告
- ・歯科で行われるべき環境整備とは
- ・楽しく学ぶ細菌学
- ・冬の感染症
- ・歯科診療における院内感染対策と義歯修理について
- ・標準予防策の重要性

# 「院内感染対策講習会」をいつ開催されますか？

(複数回答あり)

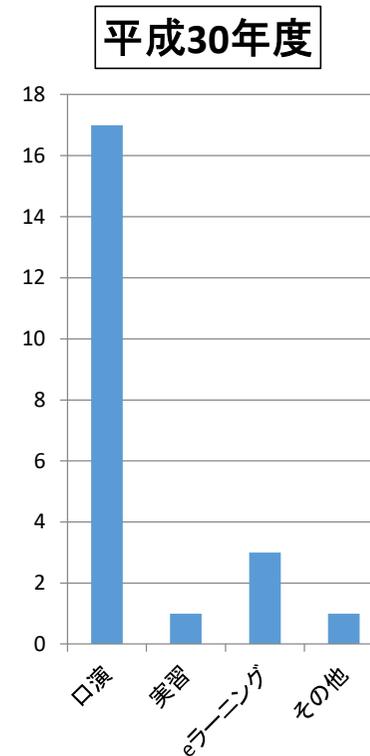
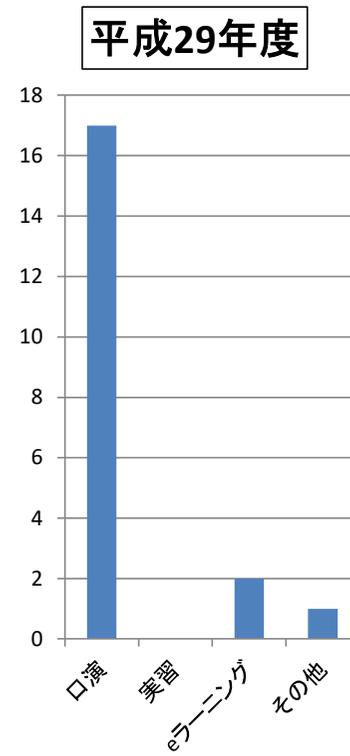
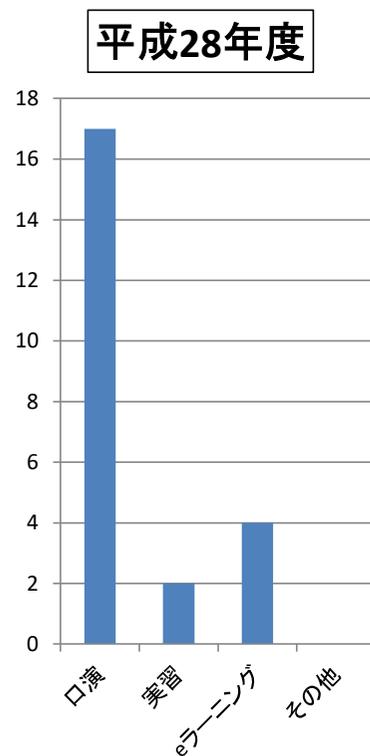
施設数



# 「院内感染対策講習会」は どのようなスタイルで行われましたか？

(複数回答あり)

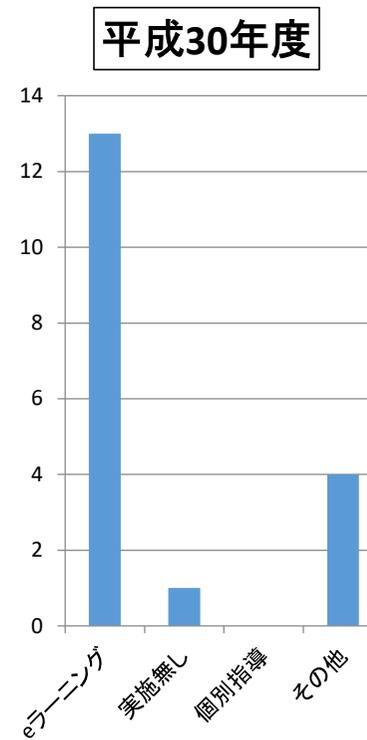
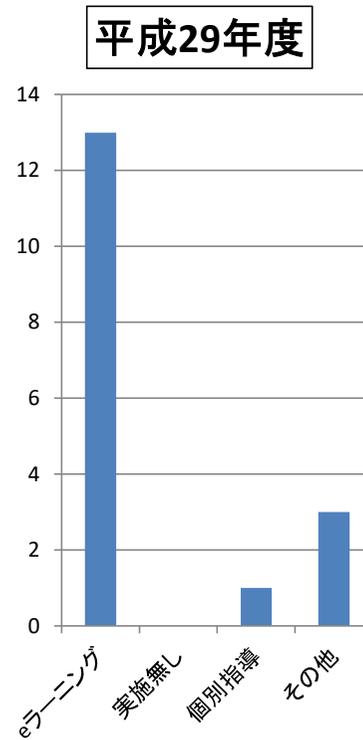
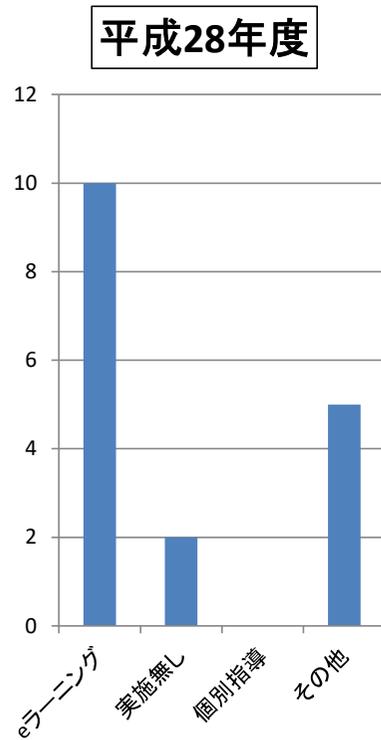
施設数



# 「院内感染対策講習会」の欠席者に どのような対策をとられていますか？

(複数回答あり)

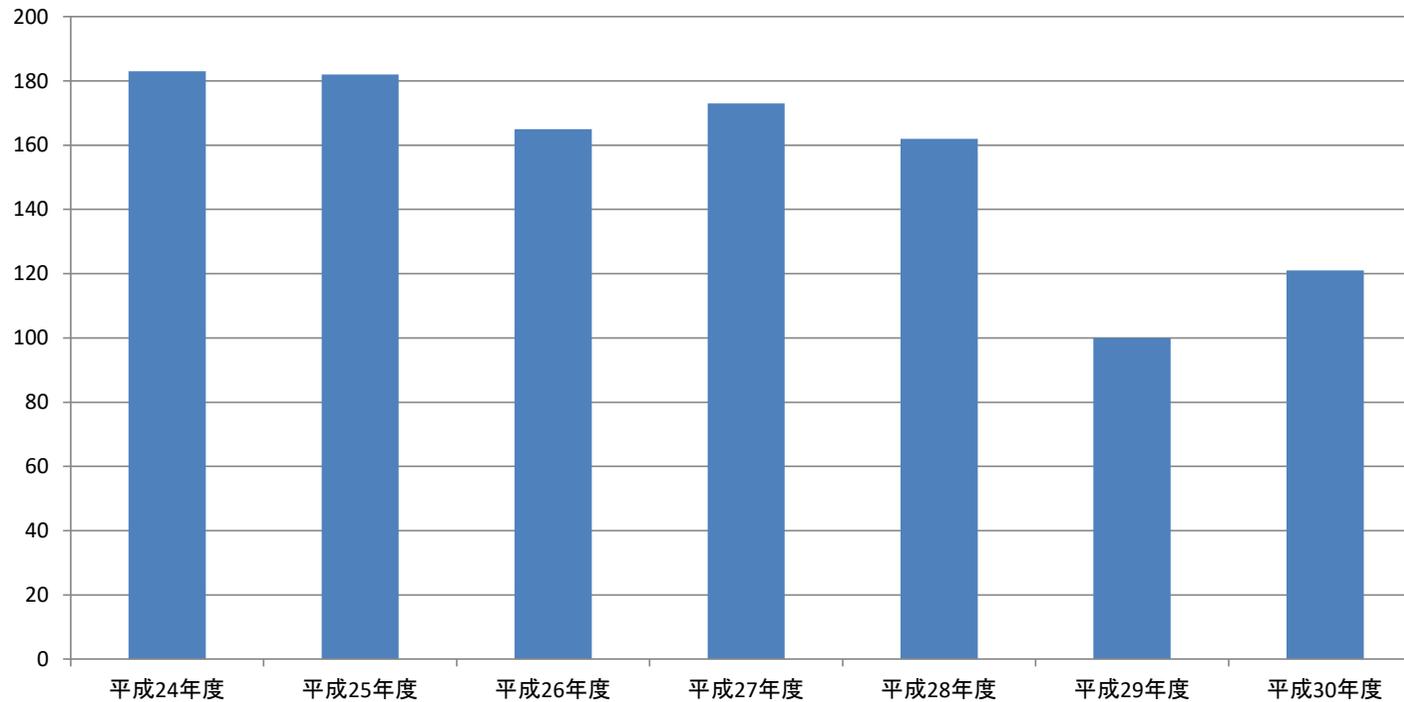
施設数



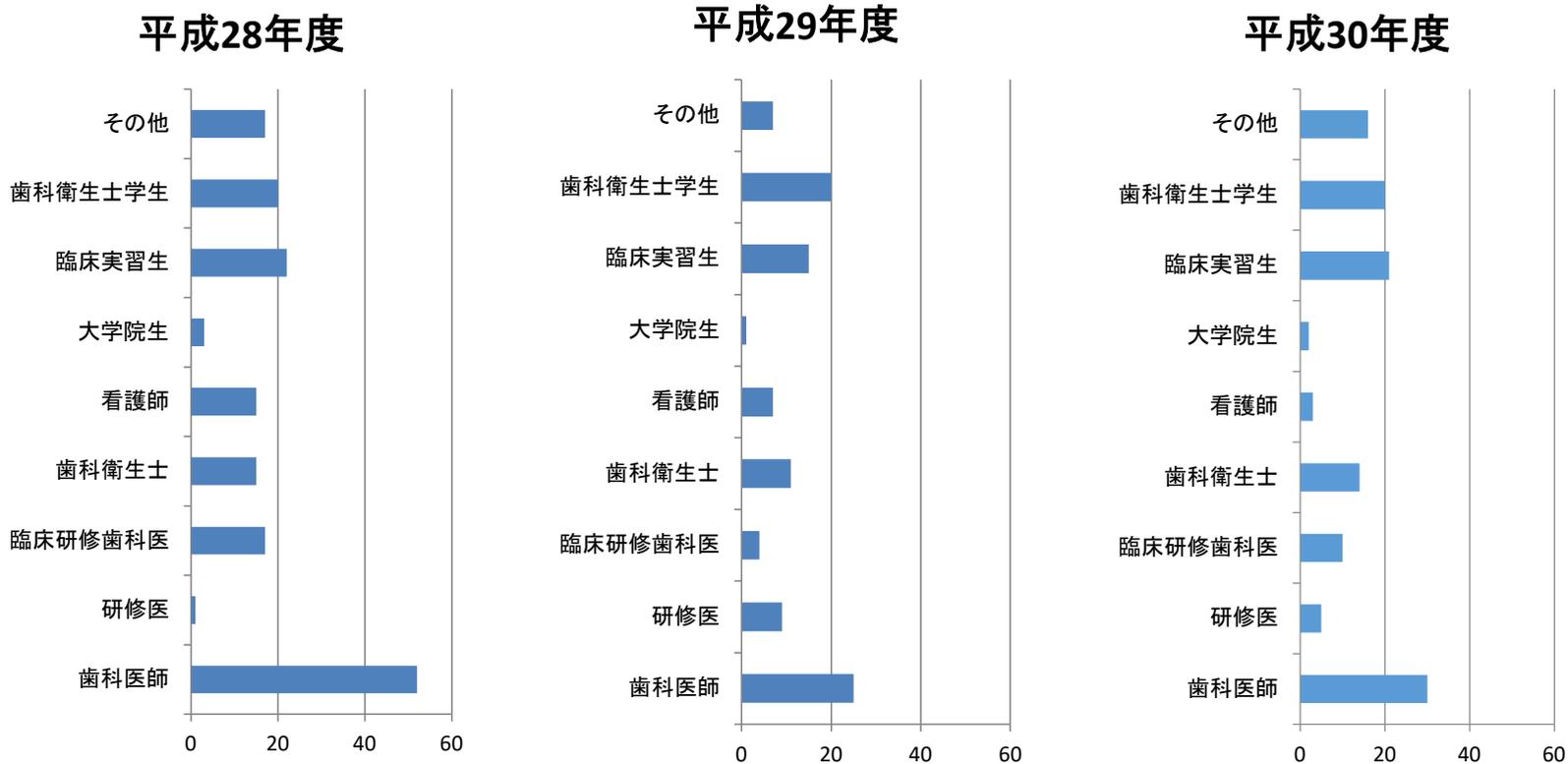
## <2. 針刺し・切創報告>

### 針刺し・切創報告の年度比較

針刺し・切創報告総数

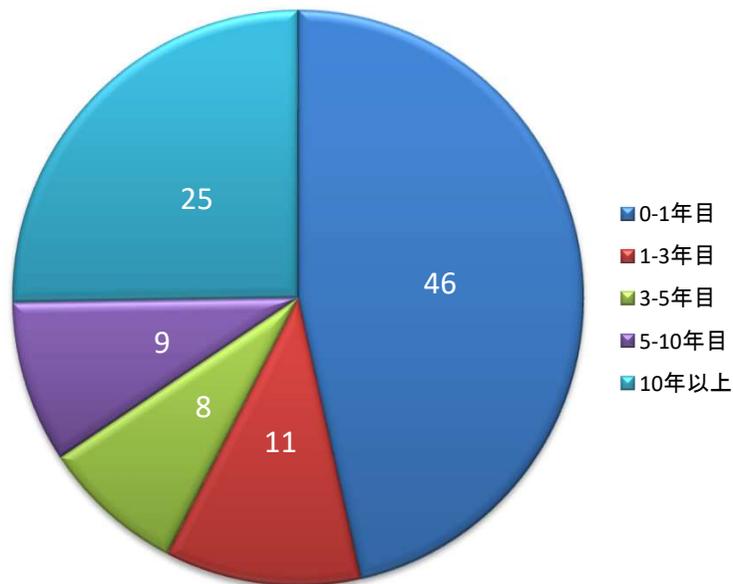


# 針刺し・切創報告の職業別比較

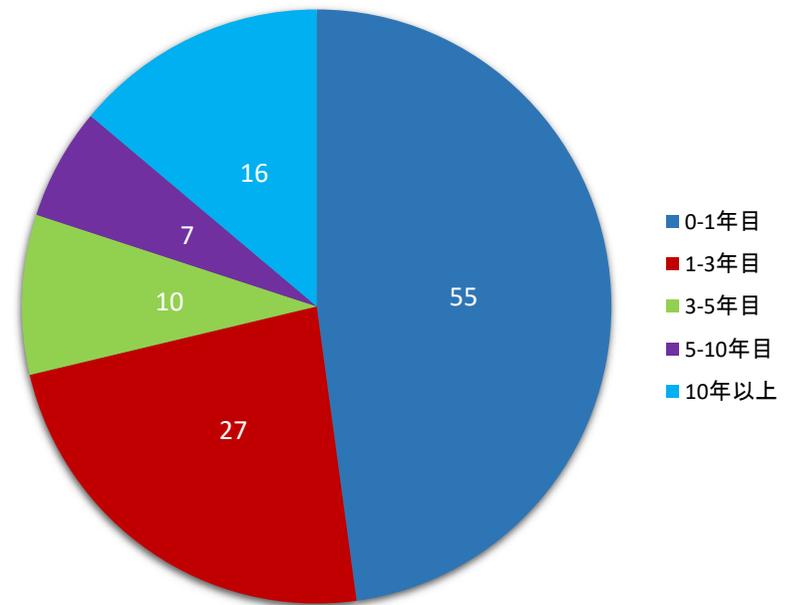


# 受傷者の経験年数

平成29年度

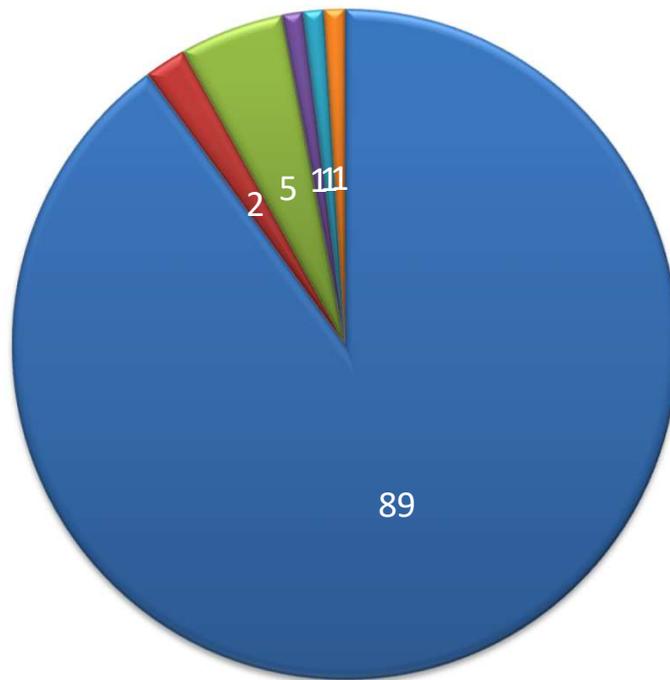


平成30年度

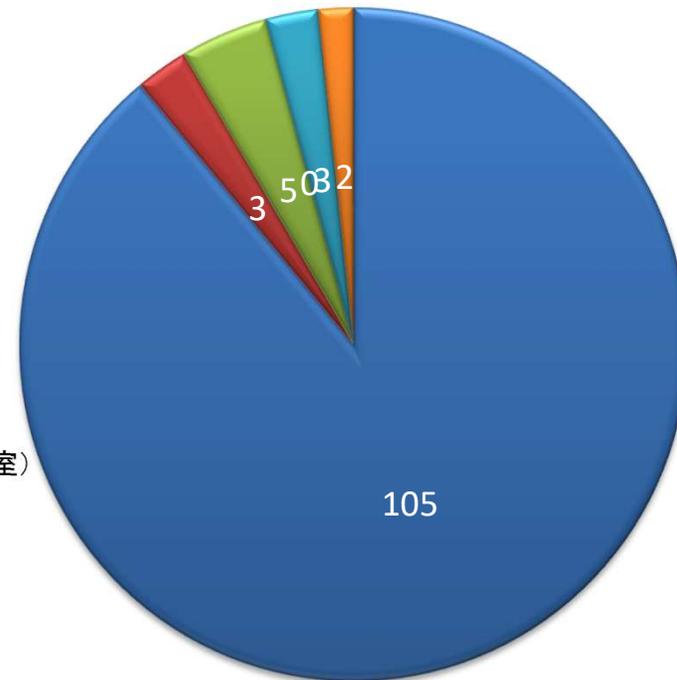


# 受傷はどの場所で生じたか

平成29年度



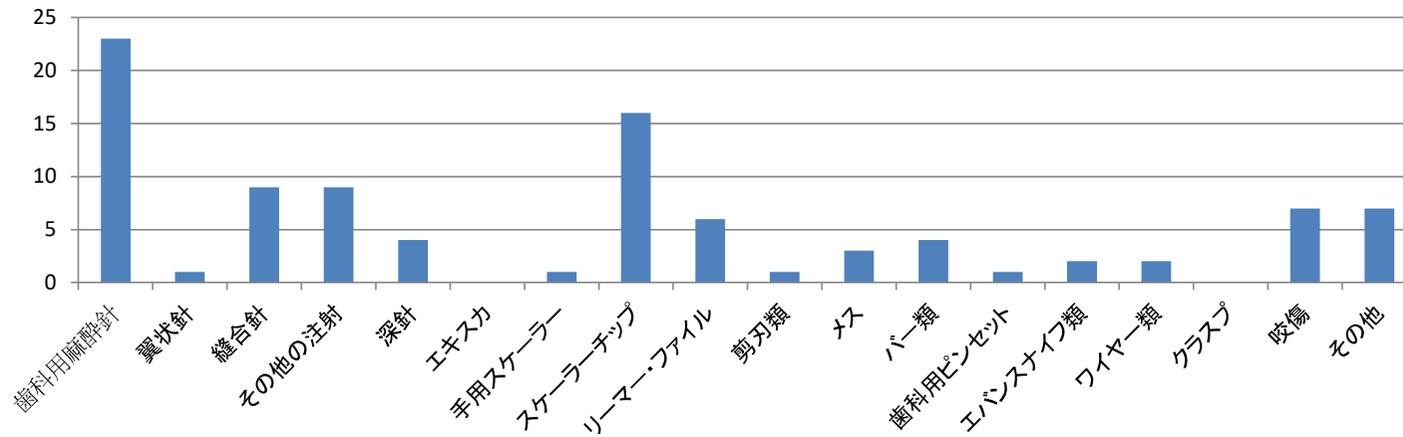
平成30年度



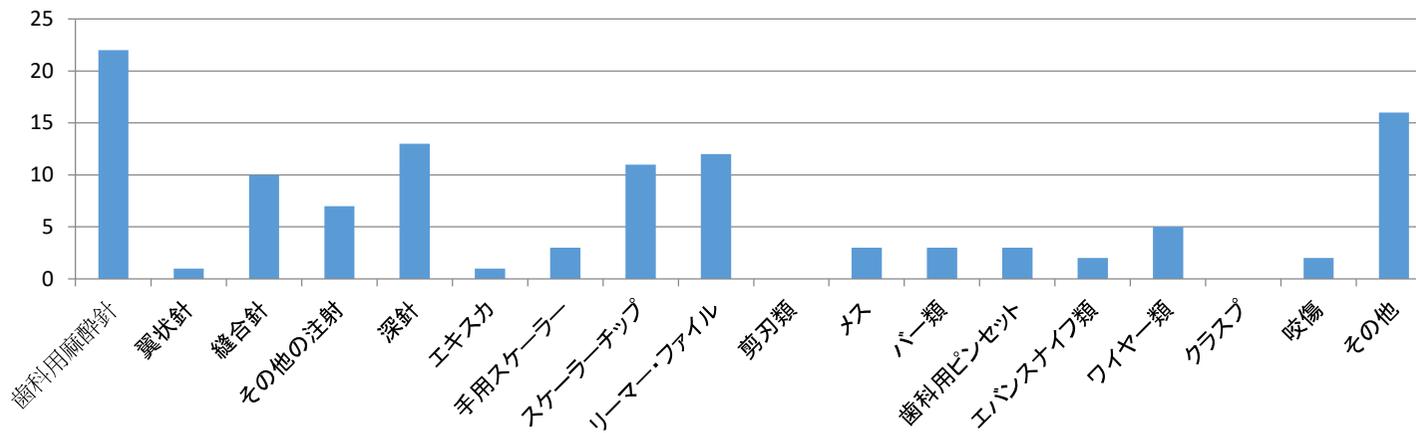
- 外来診療室
- 病棟
- 手術室
- 中央滅菌室
- 技工室
- その他(外来消毒室)

# 受傷原因の器具・器材

平成29年度



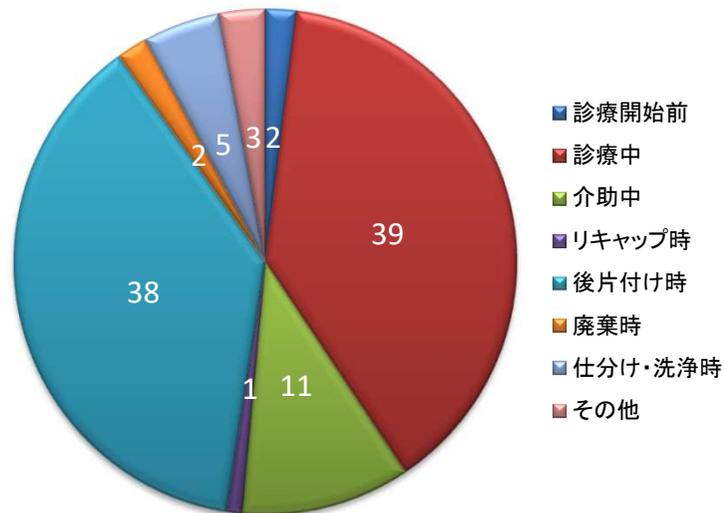
平成30年度



その他: 粘膜剥離子・スプレッター

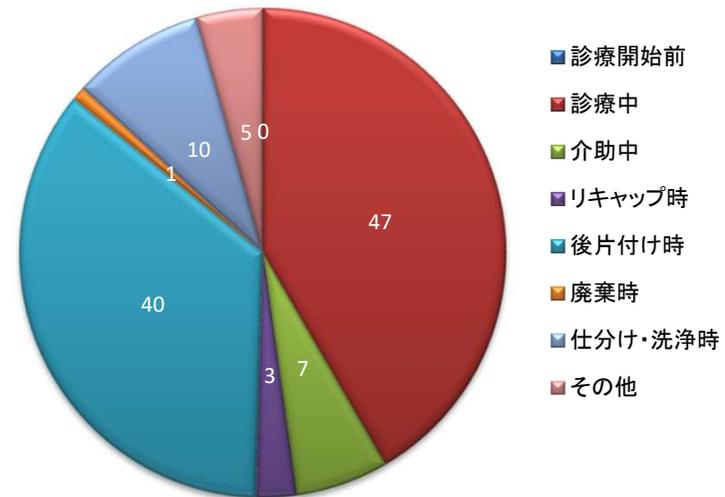
# 受傷発生状況

平成29年度



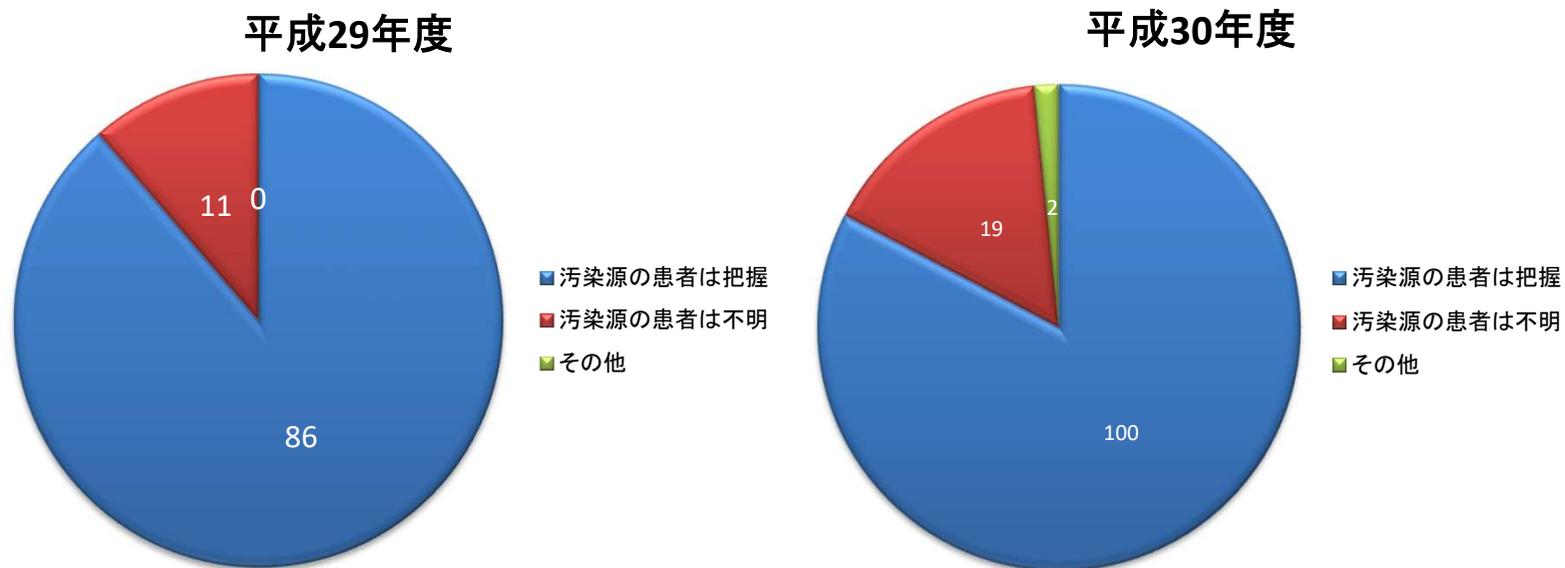
その他:1次洗浄後シャープニング中

平成30年度



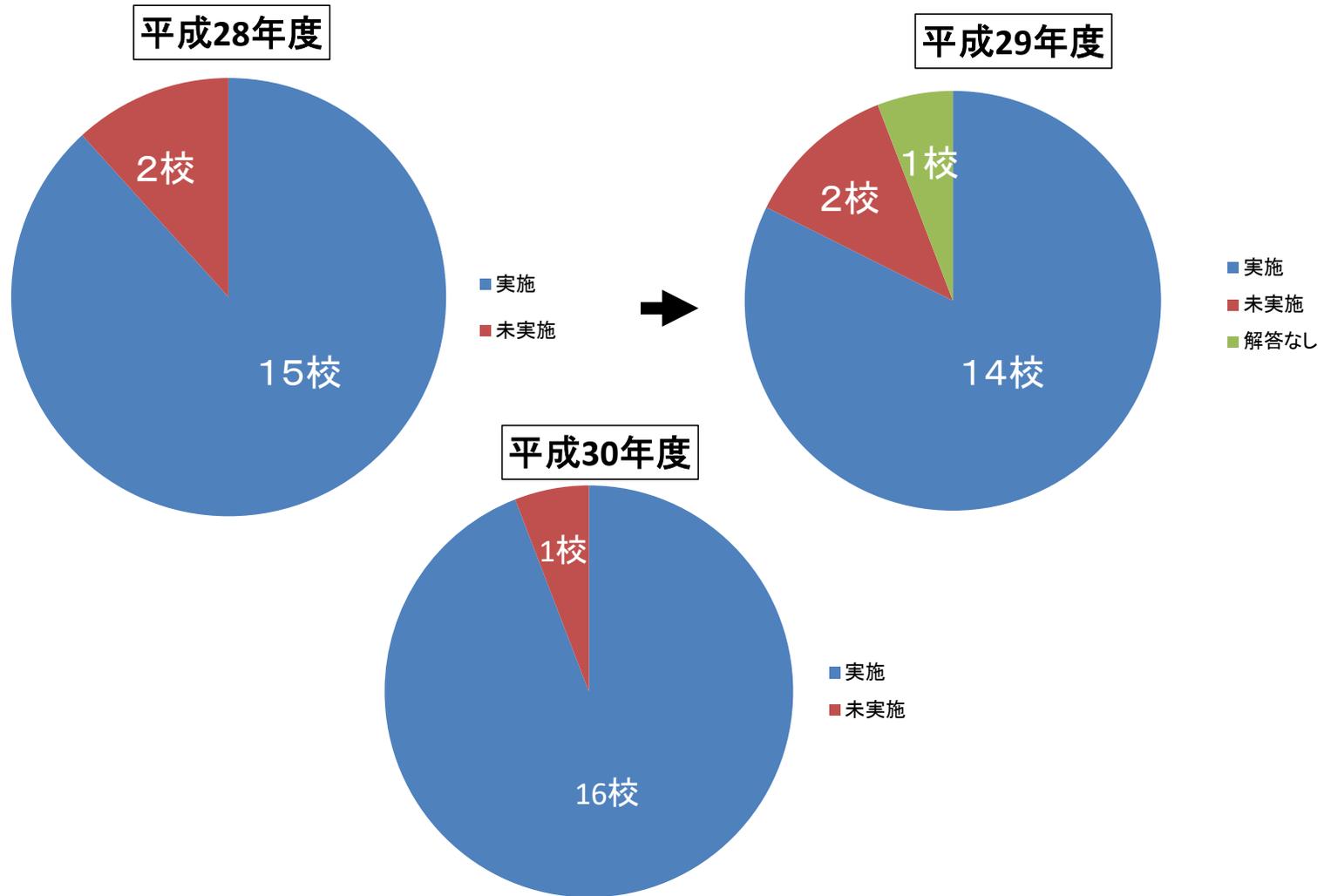
その他:採血時、印象トレイ撤去時  
滅菌仕分け時

# 受傷時の曝露源の把握について

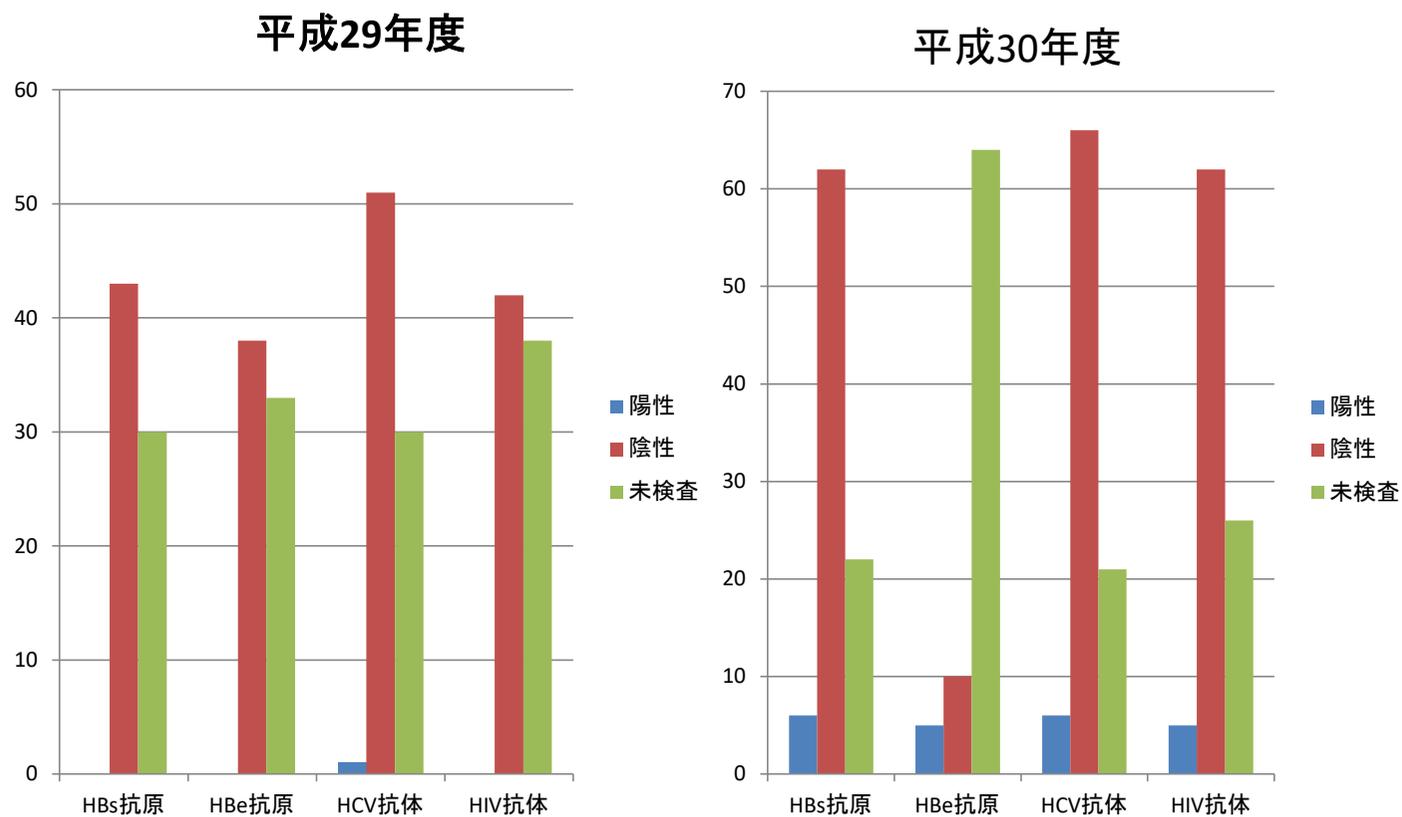


その他: 保管中メス、滅菌時

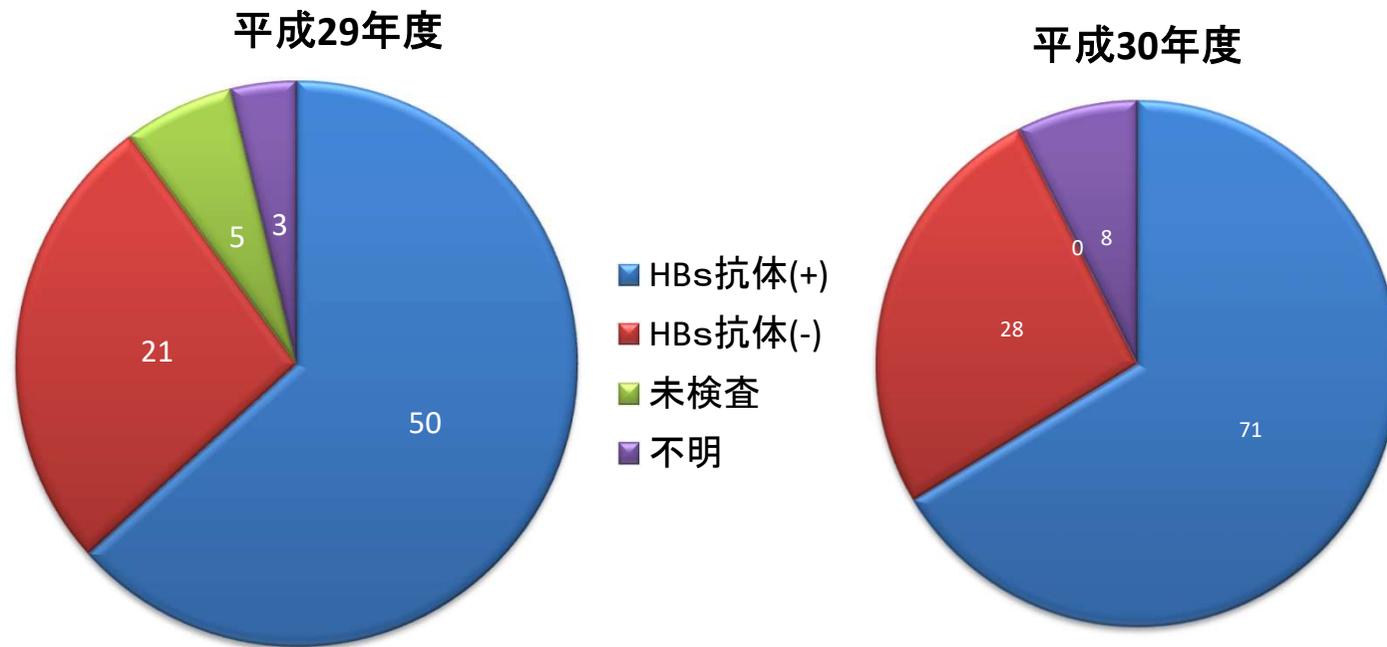
# 受傷後にHIV抗体検査をしていますか？



# 曝露源の抗原・抗体価について

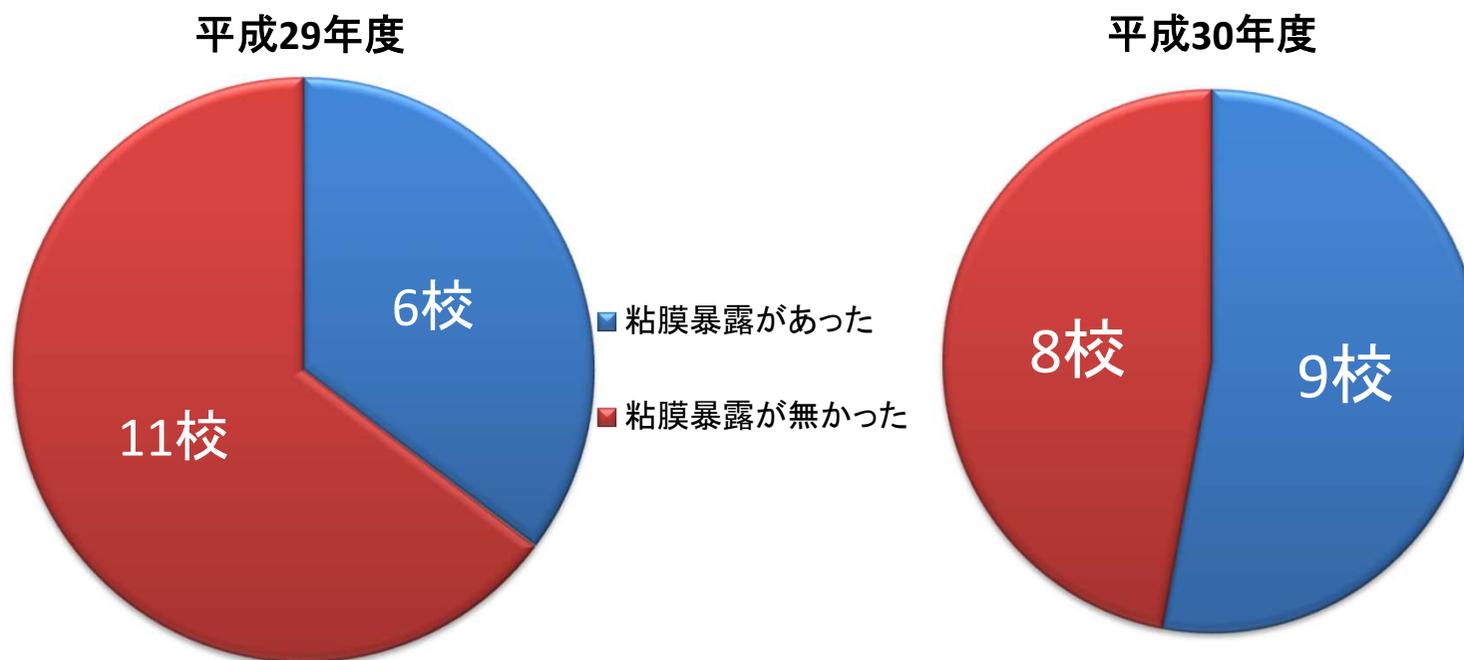


# 受傷時の抗体価について

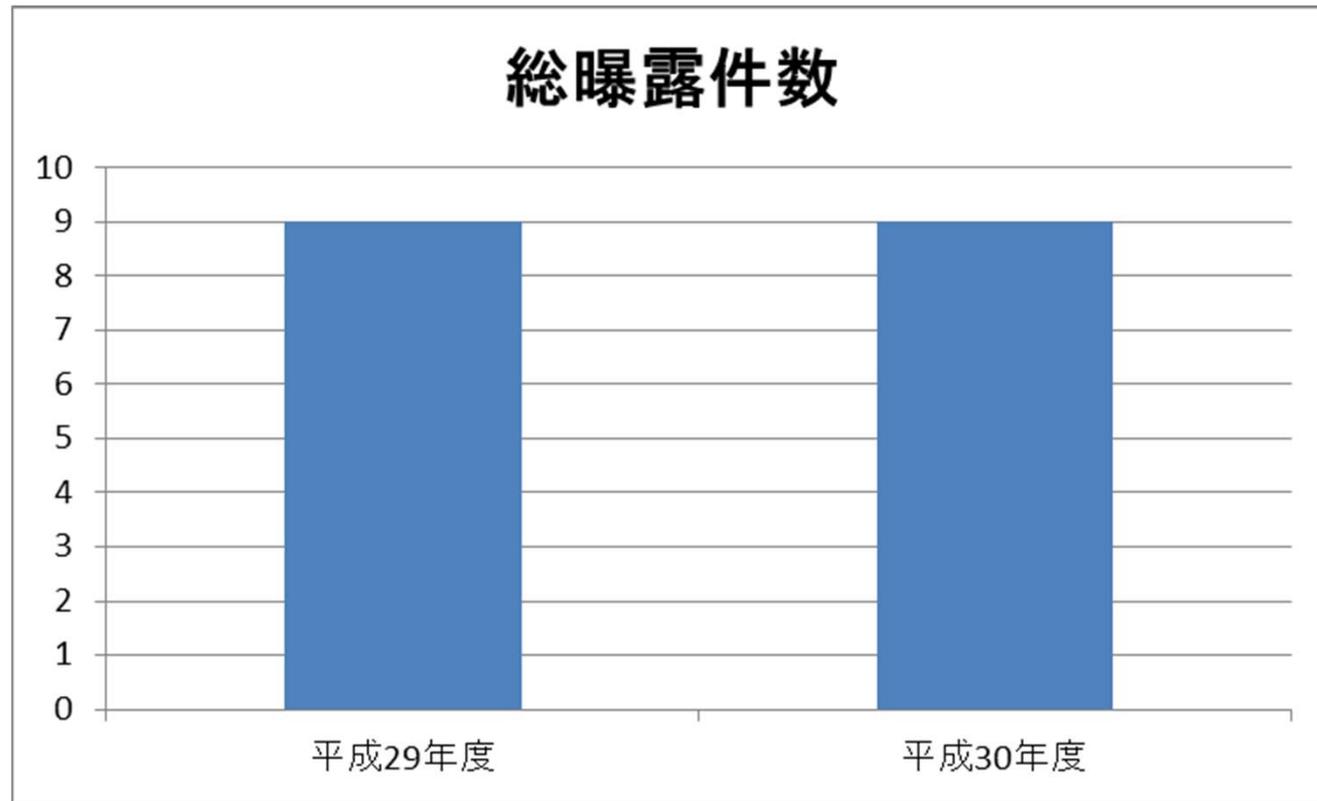


### <3. 粘膜曝露の対応>

粘膜曝露報告は何件ありましたか？(総数)



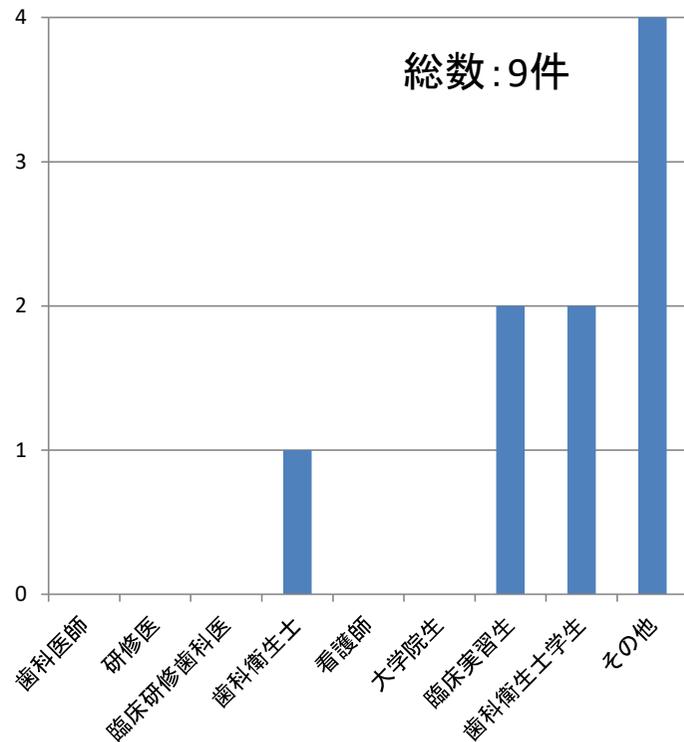
# 粘膜曝露報告は何件ありましたか？(総数)



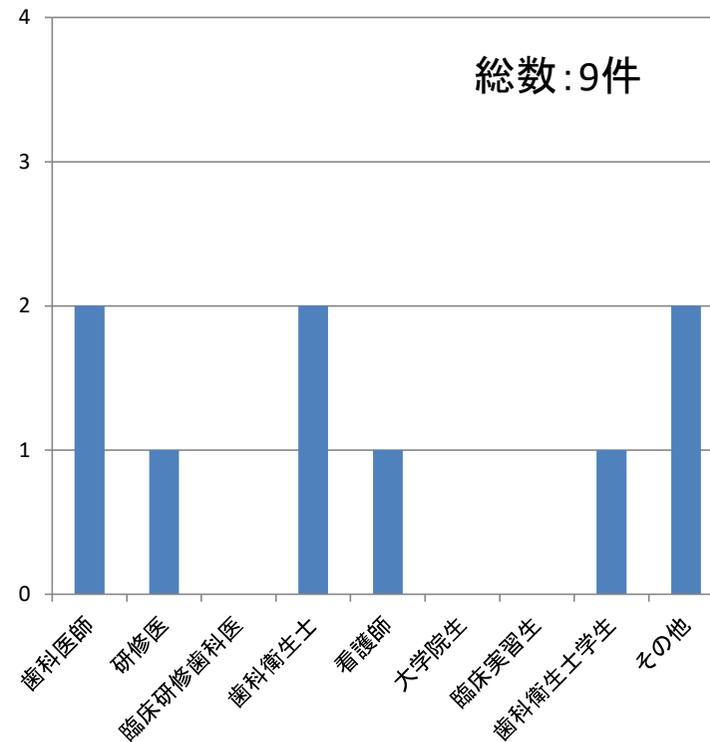
# 粘膜曝露報告は何件ありましたか？(職種毎)

(複数回答あり)

平成29年度

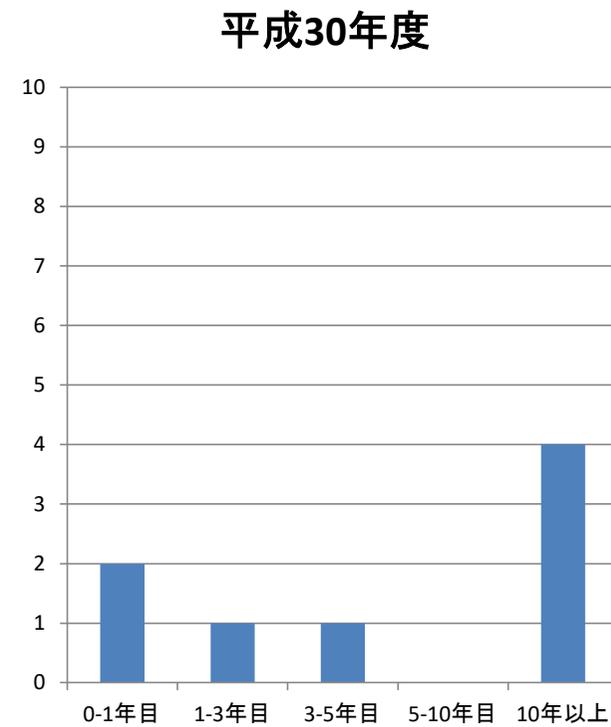
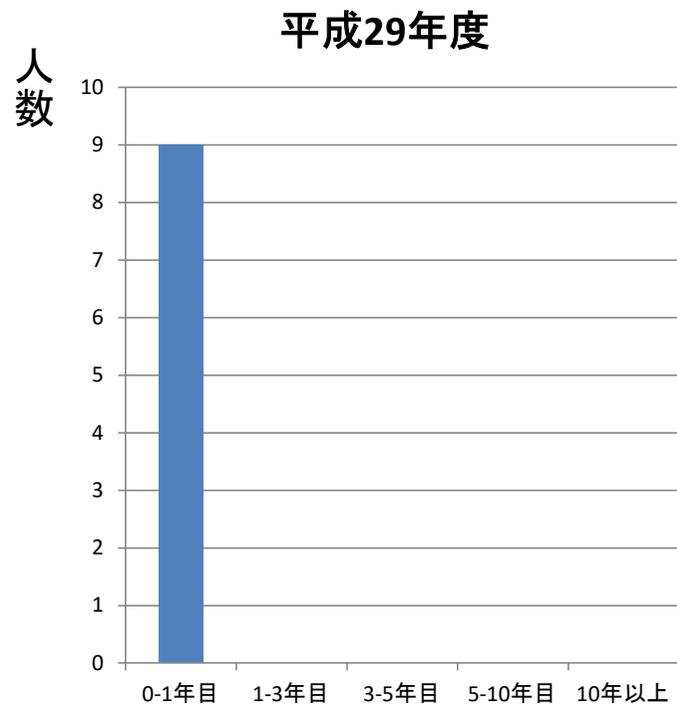


平成30年度



その他: 医師

# 受傷者の経験年数

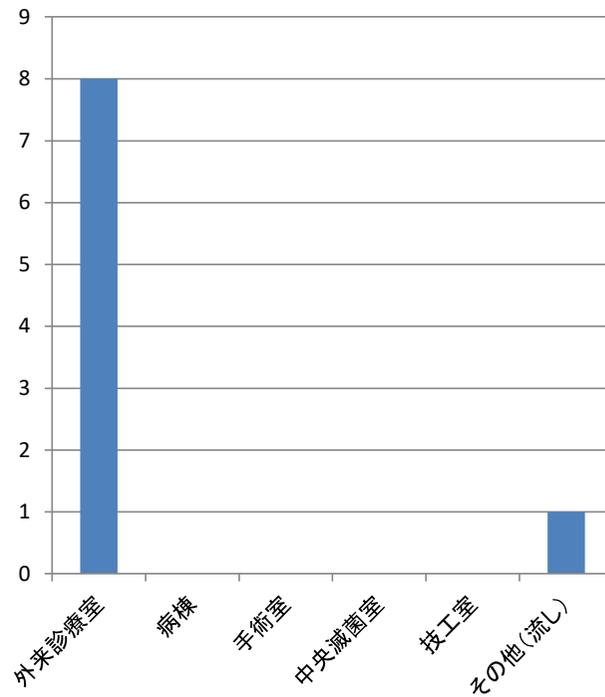


※平成30年度 未回答1件あり

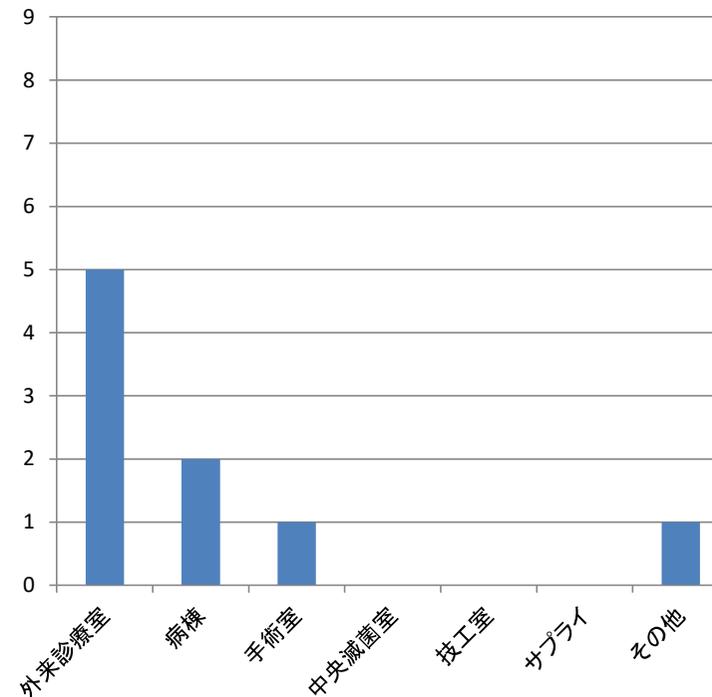
# 受傷はどの場所で生じたか

(複数回答あり)

平成29年度



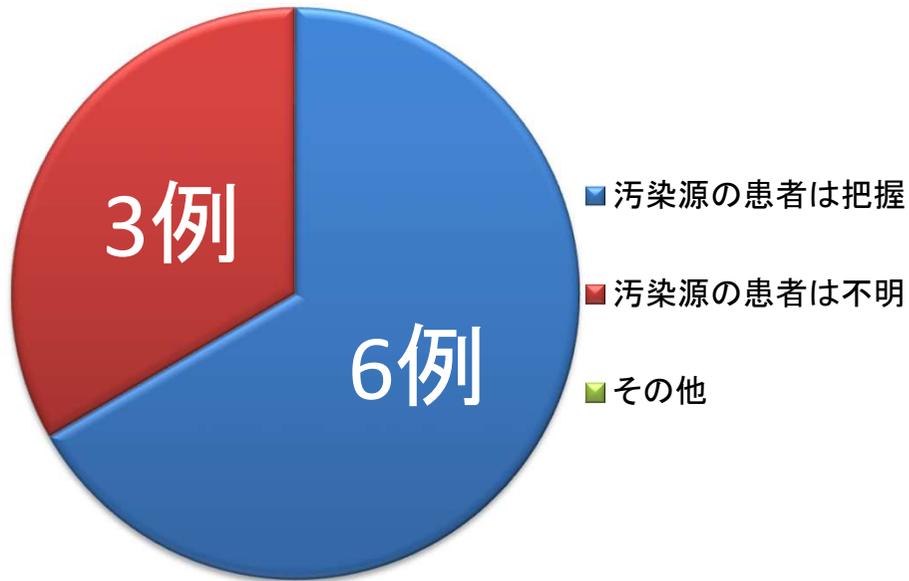
平成30年度



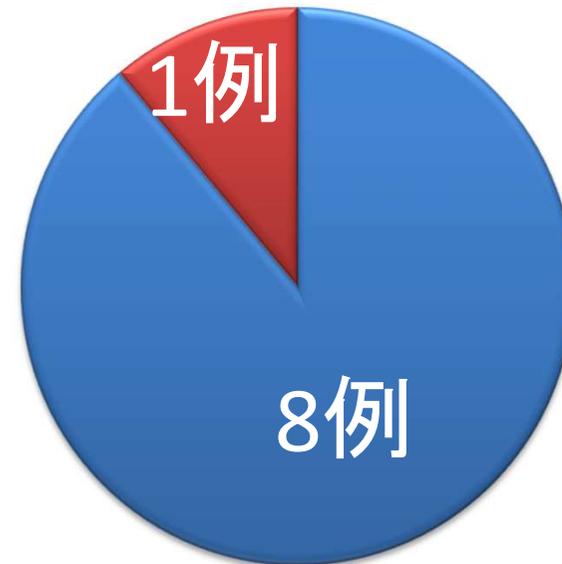
その他:内視鏡室

# 受傷時の曝露源の把握について

平成29年度



平成30年度

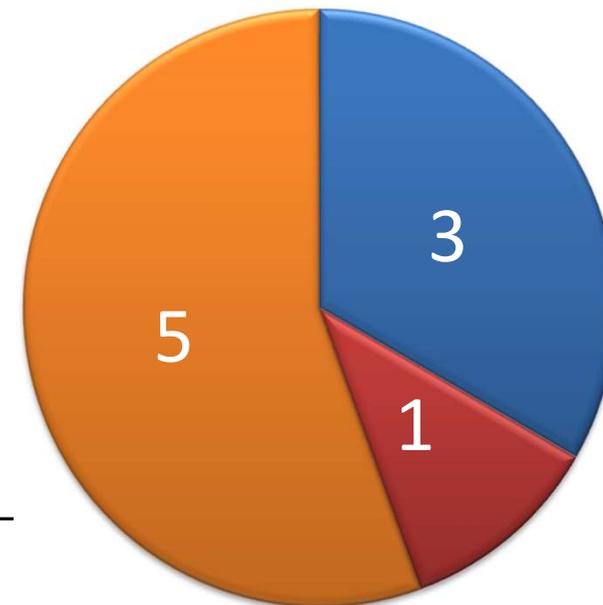


# 曝露の原因物質について

平成29年度



平成30年度



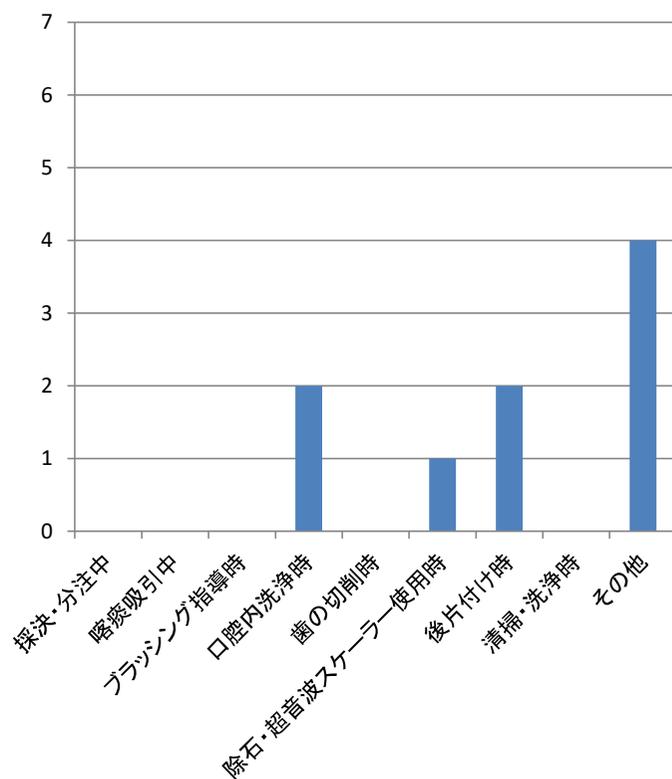
- 血液
- 唾液
- 吐物
- 痰
- エアロゾル
- その他(スリーウェイの水)

その他: 器具洗浄水など

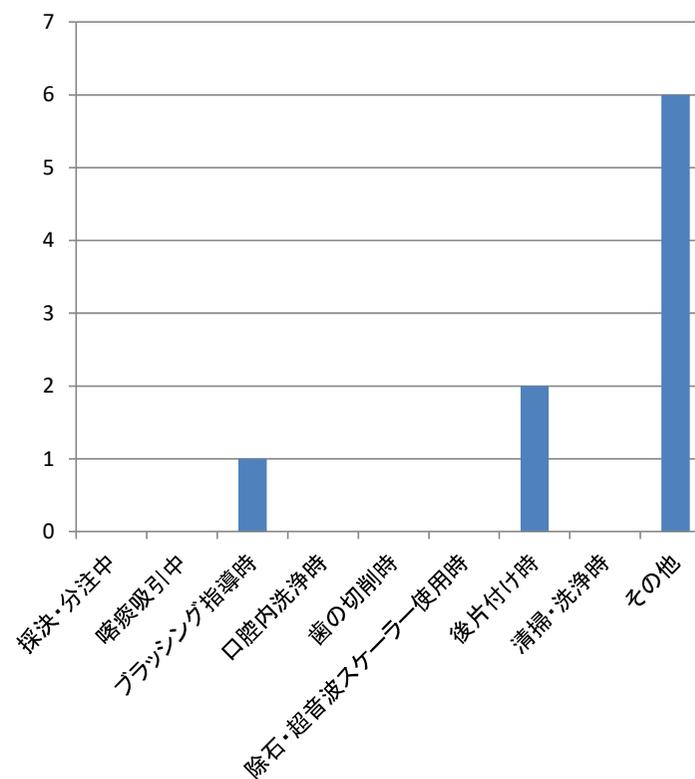
# 受傷発生状況について(場所毎)

(複数回答あり)

## 平成29年度



## 平成30年度

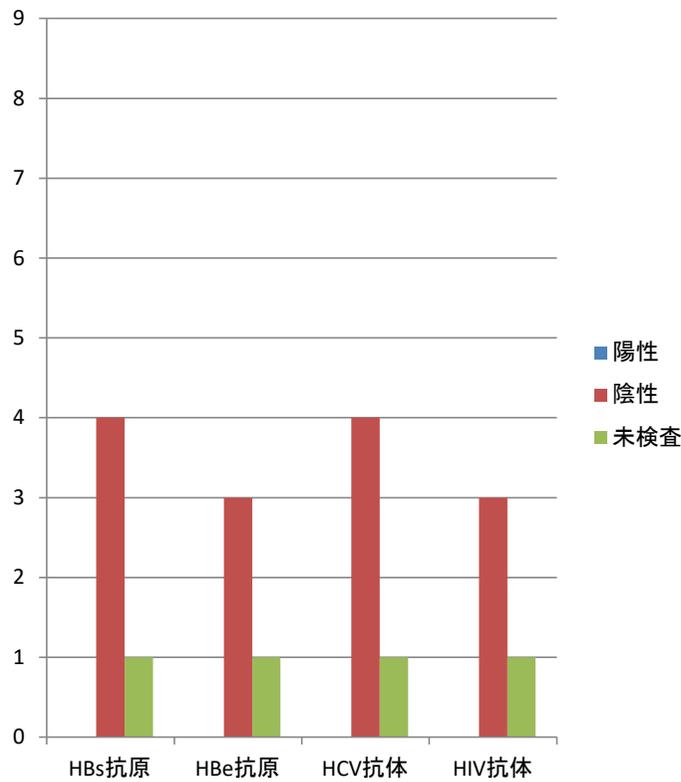


その他: 抜歯時・口腔内診査中・血圧測定時・大腸洗浄時

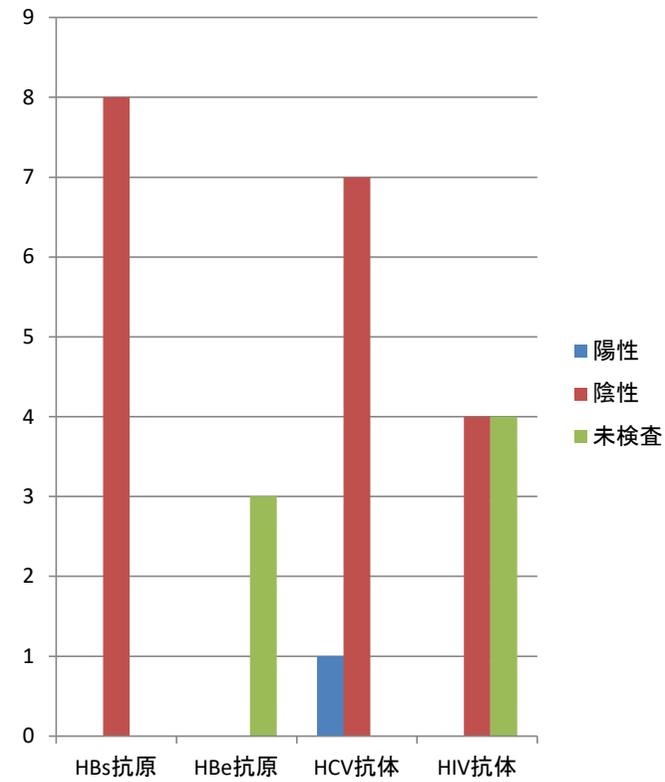
# 曝露源の抗原・抗体価について

(複数回答あり)

平成29年度

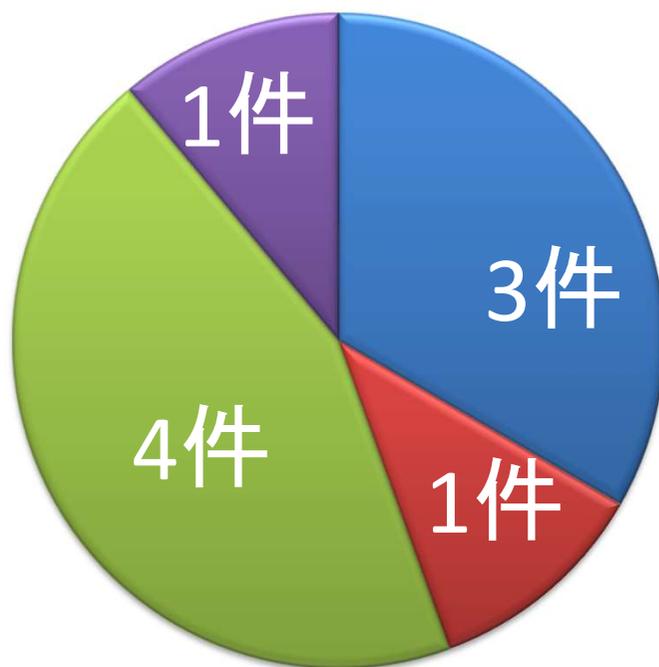


平成30年度

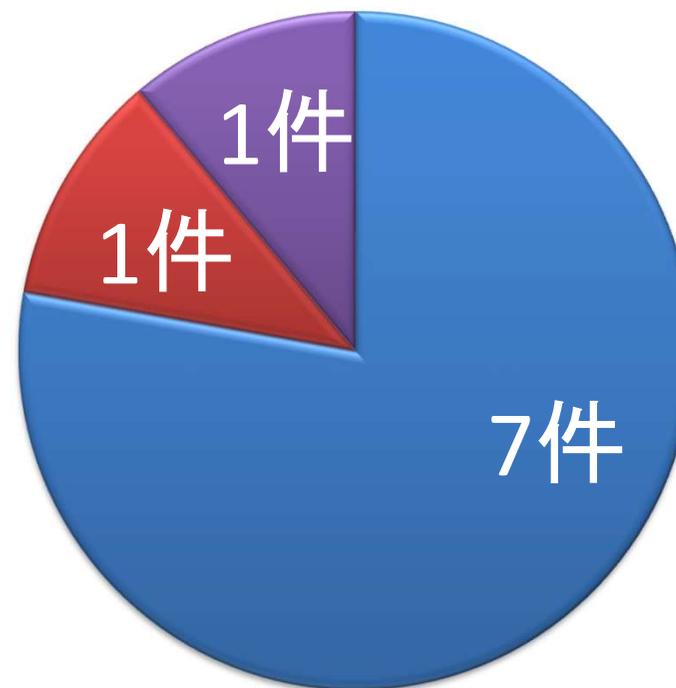


# 曝露者の抗体価

平成29年度



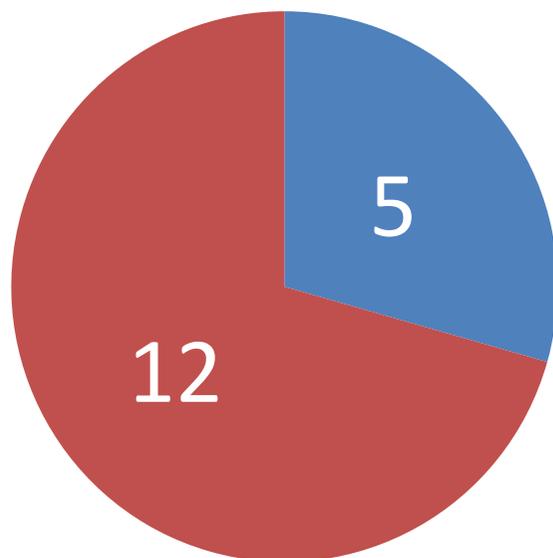
平成30年度



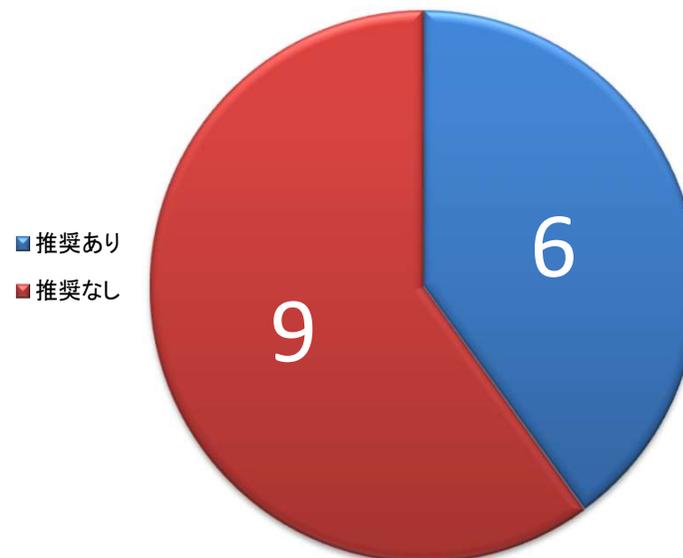
- HBs抗体(+)
- HBs抗体(-)
- 未検査
- 不明

受傷の汚染源(患者など)が特定できない場合、  
抗HIV薬の服用を推奨していますか？

平成29年度



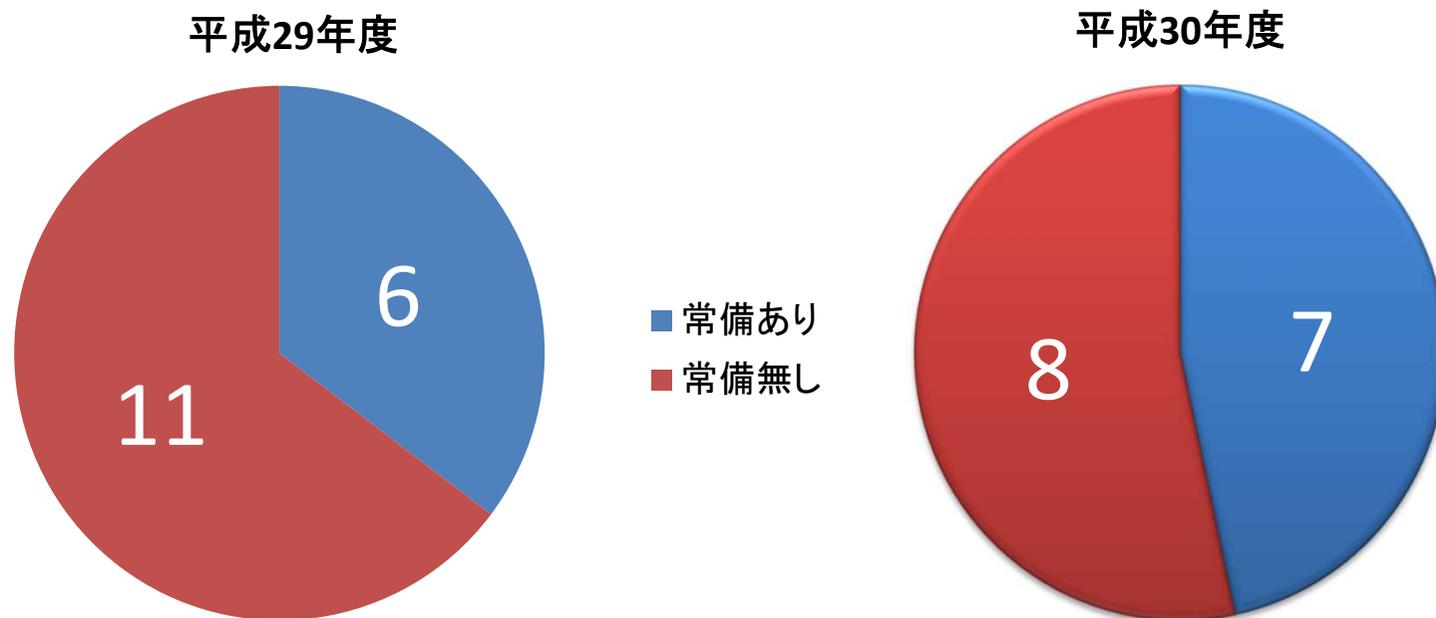
平成30年度



■ 推奨あり  
■ 推奨なし

※ 2大学未回答

抗HIV薬を自施設で常備していますか？  
常備していない場合、常備している他施設を把握していますか？



常備なしの施設全てが他施設を把握

## 常備している薬品名と常備数を記載下さい

- ツルバダ配合錠(10錠)・アイセントレス錠(10錠)
- ツルバダ配合錠(1錠)・アイセントレス錠(1錠)
- ツルバダ配合錠(2錠)・アイセントレス錠(2錠)
- ツルバダ配合錠(2錠)・アイセントレス錠(4錠)
- ツルバダ配合錠(30錠)・アイセントレス錠(58錠)  
・レトロビルカプセル
- ツルバダ配合錠(10錠)・アイセントレス錠(20錠)